Pioneer

マルチプレーヤー

CDJ-900NXS

CDJ-900nexus

http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

http://rekordbox.com/

rekordbox™の各種情報やサービスについては、上記のオンラインサポートをご覧ください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」はどちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
  特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。
- 本書では、コンピューター画面に表示される画面名、メニュー名、および製品本体ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。
  記載例：
  — [**CUE**] ボタンを押す
  — [**UTILITY**] 画面が表示されます。
  — Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [Pioneer] > [rekordbox 2.x.x] > [rekordbox 2.x.x] をクリックする
  — LAN ケーブルを [**LINK**] 端子に正しく接続してください。

はじめに

本機の特長

本機はクラブプレーヤーの世界標準であるパイオニア CDJ シリーズの技術を継承した DJ プレーヤーです。さまざまなソースに対応し、PRO DJ LINK、QUANTIZE、BEAT SYNC など DJ パフォーマンスのための多彩な機能を備えるだけでなく、高音質、高信頼性設計および操作性の高いパネルレイアウトを採用することにより、すべての DJ のパフォーマンスを強力にサポートします。

MULTI MEDIA, MULTI FORMAT

ディスク（CD）だけでなく、ＵＳＢデバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク)、モバイルデバイス内に記録されている音楽ファイルを再生できます。また、音楽ファイルのフォーマットは、音楽 CD (CD-DA)、MP3 はもちろん、AAC、WAV、AIFF に対応しています。付属の音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows) を使って、DJ プレイに必要なプレイリスト、キュー、ループおよびビートグリッドなどを自宅でじっくり準備できます。当日はディスコ / クラブでの DJ プレイに安心して専念できます。音楽ファイルの入手から DJ プレイまで、各ステップをスムーズに連携させた DJ サイクルを実現します。

rekordbox (Mac/Windows)

rekordbox は、rekordbox に対応したパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。
付属の音楽管理ソフトウェア rekordbox を使って、コンピューター内の音楽ファイルをさまざまな方法で管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

- 本書では、Mac/Windows 版 rekordbox を rekordbox (Mac/Windows) と表記しています。また、rekordbox (Mac/Windows) および rekordbox (iOS/Android) を同時に表現する場合や、rekordbox 機能そのものを表現する場合に rekordbox と表記しています。

rekordbox (iOS/Android)

無償でダウンロードできるスマートフォンアプリ rekordbox (iOS/Android) を使って、モバイルデバイス内の音楽ファイルを管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox (iOS/Android) で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

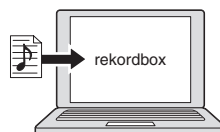
- 本書では、モバイルデバイス版 rekordbox を rekordbox (iOS/Android) と表記しています。

PRO DJ LINK

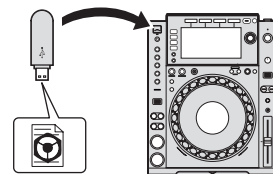
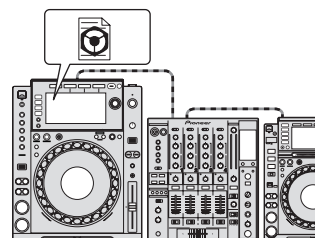
USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) を使った「USB Export」と、rekordbox がインストールされているコンピューターを使った「rekordbox LINK Export」があります。

❖ USB Export

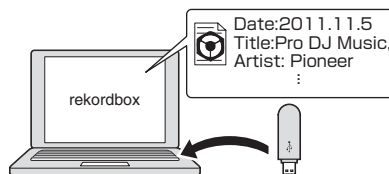
USB デバイスを使って rekordbox の音楽ファイルや管理データを受け渡しできます。ディスコやクラブにコンピューターを持ち込む必要がありません。

自宅・スタジオ

- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordbox で準備する。

rekordbox のデータを USB デバイスに書き出す。

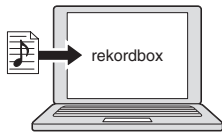
ディスコ・クラブ

USB デバイスを DJ プレーヤーにセットする。

- rekordbox のデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINK を使って rekordbox のデータを共有する。

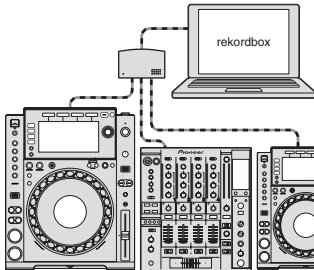
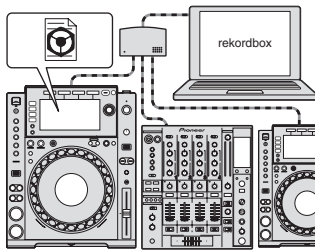
演奏履歴が USB デバイスに保存される。

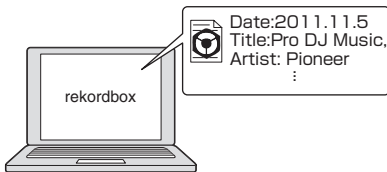
自宅・スタジオ

演奏履歴を rekordbox で確認・管理する。

❖ rekordbox LINK Export

本機とコンピューターを LAN ケーブルを使って接続すると、rekordbox の音楽ファイルや管理データを直接受け渡しできます。USB デバイスにデータをエキスポートする手間を省けます。無線 LAN ルーター (または無線 LAN アクセスポイント) を使って無線で接続することもできます。

自宅・スタジオ

- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordbox で準備する。

ディスコ・クラブ

コンピューターと DJ プレーヤーを接続する。

- rekordbox のデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINK を使って rekordbox のデータを共有する。

自宅・スタジオ

演奏履歴を rekordbox で確認・管理する。

DISPLAY

本機は DJ プレイ時に必要な情報を分かりやすく表示する、高精細大型フルカラー LCD を搭載しています。

❖ BROWSE

音楽ファイルのリスト表示と、簡単に操作できるロータリーセレクターの組み合わせにより、ストレスなく選曲できます。また、楽曲のアートワーク表示により、目的の楽曲を直感的に探し出すことができます。

❖ WAVE/WAVE ZOOM

全体波形（WAVE）を表示することにより楽曲全体の構成を視覚的に把握できます。また帯域別に色分けして、拡大 / 縮小可能な拡大波形 (WAVE ZOOM) を表示することにより、瞬時に楽曲展開を把握できます。

❖ BEAT COUNT DOWN

再生中のポイントから保存されたキューポイントまでの正確な拍数を瞬時に把握することができます。

BEAT SYNC

rekordbox で解析された楽曲の GRID 情報をもとに、本機で再生する楽曲のテンポ (BPM) と拍位置を PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレイヤーに自動的に合わせることができます。ビートシンク機能によってミックスをアシストすることで、ミキシングやエフェクトなどのパフォーマンスが可能になり、DJ プレイの幅が大きく広がります。

QUANTIZE

rekordbox で解析された楽曲なら、ループ / リバース / スリップループなどを使うときに、操作タイミングがビートとずれた場合でも自動で補正する QUANTIZE 機能を搭載しています。再生中の楽曲のリズムを崩すことなく確実なパフォーマンスを行えます。

SLIP MODE

ループ / リバース / スクラッチ / ポーズ中にバックグラウンドで楽曲を再生し続ける SLIP モード機能を搭載しています。これにより、ループ / リバース / スクラッチ / ポーズ後でも原曲の展開を変えることなく DJ パフォーマンスを続けることができます。

BEAT DIVIDE

シンプルなボタン操作で再生中の楽曲のビートパターンを変化させることができます。楽曲のリズムを崩すことなく、多彩なビートアレンジを即興で行えます。

MY SETTINGS

本機の機能設定を、USB デバイスやモバイルデバイスに保存し、必要に応じて本機に反映できます。また、rekordbox 上で本機の設定を行い、直接本機に転送することもできます。これにより、クラブにおける DJ 交代時に、事前に準備しておいた自分用の設定に即座に切り換えられます。

HIGH SOUND QUALITY

オーディオ出力回路には、低ジッタークロックおよびウォルフソン社製の高性能 D/A コンバーターを採用しています。さらに、オーディオ電源への不要なデジタルノイズを遮断することにより、原音を忠実に再現しクリアで量感・音場感があふれるクラブサウンドを実現しています。

SOUND CARD

本機は他社 DJ ソフトウェアをコントロールする専用インターフェイスや MIDI インターフェイスを装備しています。またサウンドカードを内蔵しているので、他の機器ともシンプルに接続できます。

準備する

対応ソースについて

本機は以下のソースに対応しています。
- ディスク (5 ページ)
- USB デバイス (5 ページ)
- コンピューター (20 ページ)

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM からソフトウェアをコンピューターにインストールすると、本機とコンピューターを組み合わせてお使いいただけます。
付属の CD-ROM には以下 2 つのソフトウェアが含まれています。
- 音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows)
- ドライバソフトウェア

使用できるメディア

ディスクについて

本機は以下のディスクを再生できます。

種類	マーク [1]	対応フォーマット	対応ファイルシステム
CD		• 音楽 CD (CD-DA)	–
CD-R	 	• 音楽 CD (CD-DA) • CD-ROM	ISO9660 level 1, ISO9660 level 2, Romeo and Joliet
CD-RW	 		
CD-TEXT [2]	 	音楽 CD (CD-DA)	–

[1] 表中のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。
[2] CD-TEXT に記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。

❖ 再生できないディスク

- DTS-CD
- フォト CD
- ビデオ CD
- CD グラフィックス (CD-G)
- ファイナライズしていない CD
- DVD ビデオ
- DVD オーディオ
- DVD-RAM
- DVD-R/-RW
- DVD+R/+RW
- DVD-R DL (二層)
- DVD+R DL (二層)

❖ CD-R/-RW について

CD-R/-RW に記録されている音楽ファイル (MP3/AAC/WAV/AIFF) を再生できます。

フォルダ階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	1 000 フォルダ
最大ファイル数	1 000 ファイル

フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。

❖ コンピューターで作成したディスクの再生について

アプリケーションの設定やコンピューターの環境設定によっては、コンピューターで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。
コンピューターで作成したディスクは、ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくないときは、再生できないことがあります。
ディスクの取り扱いについては、40 ページの「ディスクの取り扱いかた」をご覧ください。

❖ バックアップディスク作成のおすすめ

CD-R/-RW は、一時停止またはキューポイントでの一時停止を長時間続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなることがあります。ループ再生を特定の場所で極端に繰り返したときも、その場所が再生しづらくなることがあります。
大切なディスクを再生するときは、バックアップディスクの作成をお勧めします。

❖ コピーコントロール CD および DualDisc について

本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作および性能は保証できません。

❖ 8 cm ディスクについて

8 cm ディスクは再生できません。また、8 cm アダプターをディスクに取り付けて本機で再生しないでください。ディスクの回転中にアダプターが外れてディスクの破損および本機の故障の原因になります。

USB デバイスについて

本機は、外付けハードディスク、携帯フラッシュメモリー、およびデジタルオーディオプレーヤーなどの USB マスストレージクラスの USB デバイスに対応しています。

フォルダ階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	無制限 (1 つのフォルダ内に 10 000 を超えるフォルダは表示できません)。
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダ内に 10 000 を超えるファイルは表示できません)。
対応ファイルシステム	FAT16、FAT32、HFS+ (NTFS には対応していません)

rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスを USB 経由で接続することにより、rekordbox の管理している楽曲を再生できます。対応機器については Pioneer DJ ホームページ (http://pioneerdj.com/support/) でご確認ください。rekordbox (iOS/Android) については rekordbox (iOS/Android) のユーザーマニュアルをご覧ください。
フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
制限を超えるフォルダ、ファイルは表示できません。

❖ 使用できない USB デバイス

- 外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使えません。
- USB ハブは使えません。
- iPod は使えません。（iPad、iPod touch、iPhone 内の音楽データは rekordbox (iOS/Android) のライブラリに加えない限り、本機で再生できません。）

❖ USB デバイスをお使いいただくときのご注意

- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。本機との接続により、USB デバイスにお客様が記録されたデータが損失またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の USB デバイス挿入口に許容量以上の電流が流れると [**USB STOP**] インジケーターが点滅し、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すためには、本機に接続された USB デバイスを取り外してください。過電流が検出された USB デバイスの再使用は避けてください。以上の方法で正常な状態に戻らない (通信しない) ときは、いったん本機の電源をオフしてから再度電源をオンしてください。
- USB デバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、最初のパーティションだけ使えます。（rekordbox のライブラリ情報がある場合は、rekordbox のライブラリ情報の格納されているパーティションが優先されます。）
- フラッシュカードリーダー搭載の USB デバイスは正常に動作しないことがあります。
- お使いの USB デバイスによっては期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

再生できる音楽ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットに従った音楽ファイルに対応しています。

種類	ファイル拡張子	対応フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数	エンコード方式
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3	16 bit	32 kbps ～ 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AUDIO LAYER-3	16 bit	8 kbps ～ 160 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz	CBR, VBR
AAC	.m4a, .aac, .mp4	MPEG-4 AAC LC	16 bit	16 kbps ～ 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 kbps ～ 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
WAV	.wav	WAV	16 bit, 24 bit	–	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM
AIFF	.aif, .aiff	AIFF	16 bit, 24 bit	–	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM

MP3 ファイルについて

MP3 ファイルには、固定ビットレート (CBR:Constant Bit Rate) と可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate) があります。本機ではどちらのファイルでも再生できますが、VBR は CBR に比べサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先するときは CBR で記録することをお勧めします。

AAC ファイルについて

- AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使われる音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- AAC データは、データ作成に使ったアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。
- 本機では、iTunes® によってエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルのほか、「.aac」、「.mp4」を再生できます。ただし iTunes STORE 等で購入された著作権が保護されている AAC ファイルは再生できません。またエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。

ID3 タグについて

音楽ファイルから読み込めるタグ情報は、ID3 タグ (v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0) またはメタタグです。

音楽ファイルのアートワークについて

音楽ファイルに追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG です (拡張子 : “jpg”, “jpeg”)。
- 800 x 800 ドットより大きいファイルは表示できません。

文字表示について

❖ CD-TEXT

本機は CD-TEXT に対応しています。CD-TEXT で記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。対応文字コードは以下のとおりです。
- ASCII
- ISO-8859
- MS-JIS
- Mandarin Chinese Character Code

❖ MP3/AAC

トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[**LANGUAGE**] 設定を変更してください。
➲「言語を変更する」(p.33)

コンピューターと組み合わせて使える機能

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM からソフトウェアをコンピューターにインストールすると、本機とコンピューターを組み合わせてお使いいただけます。付属の CD-ROM には以下 2 つのソフトウェアが含まれています。

❖ 音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows)

rekordbox は、rekordbox に対応したパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。

— コンピューターに保存されている音楽ファイルを分類・検索し、DJ シーンに応じたプレイリストを作成できます。
— 音楽ファイルの拍位置 (ビート)、テンポ (BPM) などをあらかじめ検出・測定・調整しておくことができます。
— キュー、ループ、ホットキューなどのポイント情報をあらかじめ設定・保存しておくことができます。

rekordbox で準備した各種ポイント情報やプレイリストを使ってパイオニア製 DJ プレーヤーで演奏できるだけでなく、演奏後の演奏履歴、演奏回数、ポイント情報などを rekordbox にフィードバックできます。

❖ ドライバソフトウェア

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。本機を Windows がインストールされているコンピューターに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピューターにドライバソフトウェアをインストールしてください。
Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

- 詳しくは 34 ページの「ドライバソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)
本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル･コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

(制限事項)
お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース･エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(輸出規制法令の遵守)
お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。
(a) アメリカ合衆国の通商禁止国
(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客リスト (Denied Person’s List or Entity List) 上の一切の者
お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する国に居住しておらず、また、上記 (b) のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的 (核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されません) にも使用しないことに同意されたものとします。

(準拠法)
本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

rekordbox (Mac/Windows) インストール時のご注意

rekordbox をインストールする前に「rekordbox (Mac/Windows) インストール時のご注意」をよくお読みください。

- 付属の CD-ROM には、以下の 12 言語のインストールプログラムと操作説明書が収録されています。
  英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語
- その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [English (英語)] を選んでインストールしてください。

対応 OS		
Mac OS X (10.5.8、10.6、10.7 または 10.8)		○
Windows® 8/Windows® 8 Pro	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows® 7 Home Premium/Professional/ Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/ Business/Ultimate (SP2 以降)	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows® XP Home Edition/Professional (SP3以降)	32 ビット版	○

❖ rekordbox (Mac/Windows) の最低動作環境

インストールを開始する前に、お使いになっているコンピューターが下記の動作環境に合っているかをご確認ください。

CPU	Mac OS X のとき	デュアルコア 1.6 GHz 以上の Intel® プロセッサを搭載した Macintosh コンピューター
	Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき	デュアルコア 2.0 GHz 以上の Intel® プロセッサを搭載した PC/AT 互換コンピューター
必要メモリー	1 GB 以上の RAM	
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量 (音楽ファイルなどの保存に要する容量を除く)	
光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ	
サウンド	スピーカーやヘッドホンなどへのオーディオ出力 (内蔵または外付けのオーディオデバイス)	
インターネット接続	ユーザー登録およびお問い合わせの際には、128 ビット SSL に対応したウェブブラウザをお使いください (Safari 2.0 以上または Internet Explorer® 6.0 以上など)。	
USB ポート	USB デバイス (フラッシュメモリーやハードディスクなど) に音楽ファイルを転送するときは、USB デバイスと接続するための USB ポートが必要です。	
LAN ポート	当社の DJ プレーヤーに音楽ファイルを転送するときは、DJ プレーヤーと通信するためのイーサネット LAN アダプター (RJ45 ポート) が必要です。	

- 上記の動作環境を満たしているすべてのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。
- 上記の動作環境に記載されている必要メモリー容量を搭載していても、以下のような場合ではメモリー不足によってソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、十分な空きメモリーを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリーの増設をお勧めします。
  — rekordbox のライブラリ内で管理されているトラックの数が多いとき
  — 常駐プログラムやサービスが動作しているとき
- コンピューターの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピューターをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで rekordbox をお使いください。
- お客様がお使いになっている他のソフトウェアとの組み合わせによっては、rekordbox の動作に不具合が発生することがあります。

rekordbox (Mac/Windows) をインストールする

rekordbox をインストールする前に「rekordbox (Mac/Windows) インストール時のご注意」をよくお読みください。

❖ インストールの手順 (Macintosh)

- rekordbox をインストール、アンインストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。
  コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入すると画面上に光学ドライブが開くので、[CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックする

- CD-ROM を挿入しても画面上に光学ドライブが開かないときは、Finder で光学ドライブを開いてから [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする

- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

3 使用許諾契約画面が表示されたら、[日本語] を選んで「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読んでから [続ける] をクリックする

- お客様のコンピューターの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意します] をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**同意しません**] をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従って rekordbox をインストールする

❖ インストールの手順 (Windows)

- rekordbox をインストール、アンインストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。
  コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んでから [開始] をクリックする

- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

3 言語選択画面が表示されたら、[日本語] を選んでから [OK] をクリックする

- お客様のコンピューターの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意します] をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**キャンセル**] をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従って rekordbox をインストールする

- インストールを途中で中止するときは [**キャンセル**] をクリックしてください。

rekordbox (Mac/Windows) を起動する / 操作説明書を参照する

コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してから rekordbox をお使いください。

- はじめて rekordbox を起動する際には、ライセンスキーを入力する必要があります。ライセンスキーは、CD-ROM の包装に貼り付けられています。

rekordbox を起動すると、rekordbox の [**ヘルプ**] メニューから操作説明書をご覧になれます。

- コンピューターがインターネットに接続されていれば、オンラインマニュアルやオンラインサポートにもアクセスできます。

❖ Mac OS X のとき

Finder で [Application] フォルダを開いてから [rekordbox 2.x.x.app] をダブルクリックする

- 2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

❖ Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき

デスクトップ上の [rekordbox 2.x.x] アイコン（ショートカット）をダブルクリックする

- 2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

rekordbox (iOS/Android) をインストールする

スマートフォンやタブレットデバイス等などのモバイルデバイスには rekordbox (iOS/Android) をインストールしてください。インストール方法や対応 OS のバージョンについては、弊社ウェブサイト (http://www.rekordbox.com) をご覧ください。

オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書およびオンラインマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されております FAQ をご確認ください。

<rekordbox のオンラインサポート＞

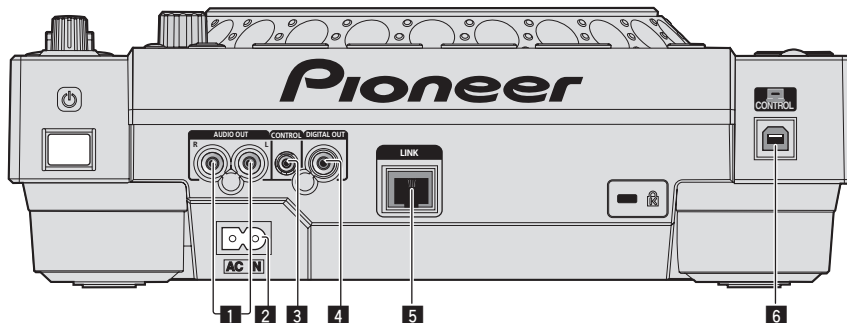
http://www.rekordbox.com

- rekordbox についてお問い合わせいただくには、事前に rekordbox のオンラインサポートでユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録の際にはライセンスキーの入力が必要ですので、お手元にライセンスキーをご用意ください。なお、ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム（お客様の e-mail アドレス）」と「パスワード」は、ライセンスキーと同様、お忘れにならないように十分ご注意ください。
- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためにお客様の個人情報を収集させていただいております。
  1 お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
  2 商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールでお客様にお知らせするため
  3 お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため
  — お客様から収集する個人情報は当社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。
  — 当社の個人情報保護方針は rekordbox のオンラインサポートでご覧いただけます。
- rekordbox についてのお問い合わせの際には、お客様のコンピューターの機種名およびスペックの詳細 (CPU・メモリー搭載量・接続している周辺機器など)・オペレーティングシステムのバージョン・具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。
  — コンピューターや周辺機器など、当社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問に関しては、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。
- 今後、rekordbox の機能・性能向上のためのバージョンアップを予定しております。rekordbox のオンラインサポートからアップデートプログラムをダウンロードできます。是非ともこのアップデートを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただきますようお願い申し上げます。

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

- LAN ケーブルを使って接続を行う際は、必ず本製品に付属の LAN ケーブルまたは STP (シールドケーブル) をお使いください。
- PRO DJ LINK を使って音楽ファイルまたは情報を共有しているときは、LAN ケーブルを取り外さないでください。

各端子の説明

1 AUDIO OUT L/R 端子
音声ケーブル (付属) を接続します。

2 AC IN
コンセントと接続します。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

3 CONTROL 端子
リレー再生用にコントロール信号を送るため、DJ プレーヤーと DJ プレーヤーをモノラルミニフォーンプラグ (ø 3.5 mm) のケーブル (市販) でつなぐ際に使います。
➲ 「リレー再生のための接続をする」(p.13)

4 DIGITAL OUT 端子
同軸デジタルケーブルを接続します。

5 LINK 端子
LAN ケーブル (付属) を接続します。

6 USB 端子
コンピューターと接続します。

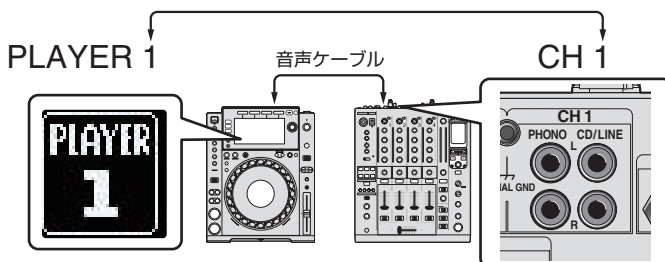
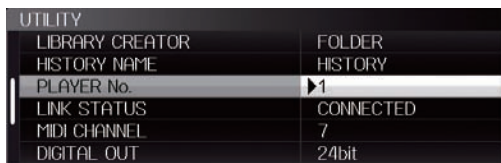
注意
製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

基本スタイル

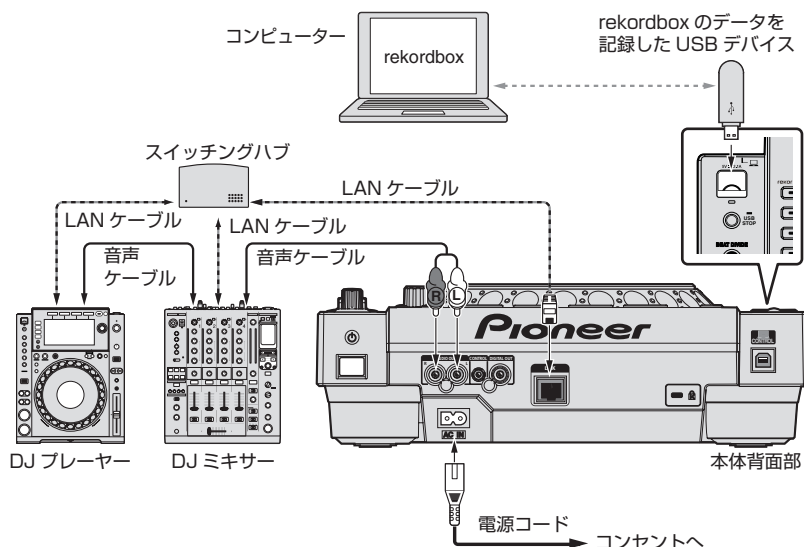
本機のプレイには、コンピューターにインストールされた rekordbox で準備されたトラックを主に使用します。
- rekordbox の操作については、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書は、rekordbox (Mac/Windows) の [ヘルプ] メニューからご覧いただけます。
- また、DJ プレーヤーと DJ ミキサーは PRO DJ LINK 接続を行い、LAN ケーブル（CAT5e）を使って、PRO DJ LINK 対応のプレーヤーを最大 4 台まで接続できます。
- 組み合わせる機種によっては、スイッチングハブ (市販) が必要です。100 Mbps 以上のスイッチングハブをお使いください。スイッチングハブによっては正常に動作しないことがあります。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ (市販) が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピューターの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。
- 無線ルーター（市販）およびアクセスポイント（市販）は IEEE802.11n, IEEE802.11g のいずれかに対応した製品をお使いください。使用環境の電波状況や、無線ルーターおよびアクセスポイントによっては、PRO DJ LINK 接続が正常に動作しない場合があります。

LAN ポートが 1 つしかないミキサーに接続する場合

LAN ポートが 1 つしかないミキサーにスイッチングハブを使って接続する場合、rekordbox の音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、音声ケーブルまたは同軸デジタルケーブルが接続されたミキサー側のチャンネル番号と本体表示部左下部のプレーヤー番号を合わせてください。

(例：チャンネル 1 に音声ケーブルで接続する場合)

プレーヤー番号を変更したい場合は、以下の手順に従って変更してください。
① USB デバイスを取り外し、LAN ケーブルを抜く
② [**MENU (UTILITY)**] ボタンを 1 秒以上押して、[**UTILITY**] 画面を表示させる
③ ロータリーセレクターを回して [**PLAYER No.**] を選び、ロータリーセレクターを押す
④ ロータリーセレクターを回してプレーヤー番号を選び、ロータリーセレクターを押して決定する

⑤ [**MENU (UTILITY)**] ボタンを押して、設定を終了する

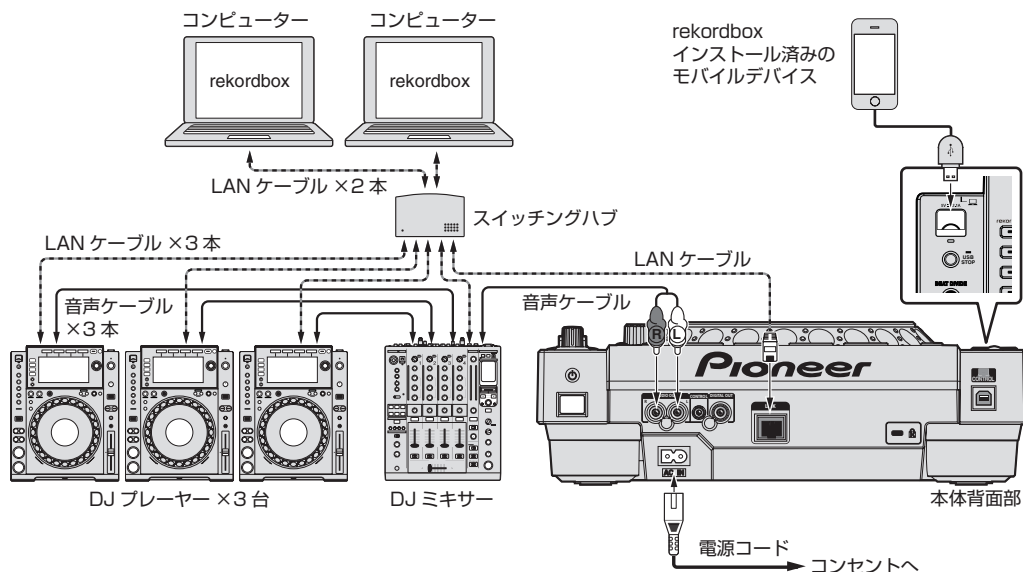
PRO DJ LINK(USB Export)

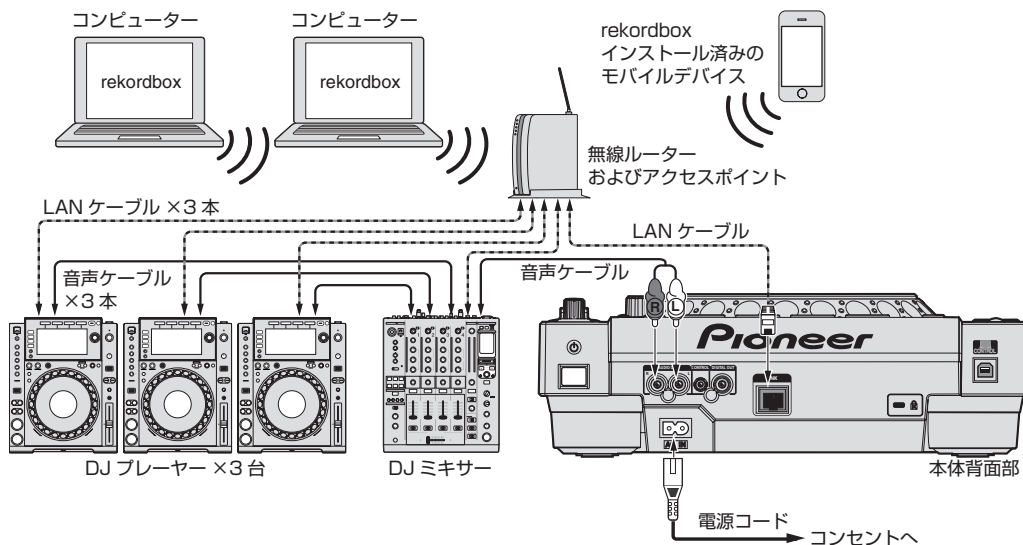
- DJ ブースにコンピューターを持ち込まずに、メモリーデバイス (フラッシュメモリー、ハードディスク等) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、およびループなどの情報を使って演奏できます。

PRO DJ LINK(LINK Export)

- DJ ブースにコンピューターを持ち込み、rekordbox がインストールされているコンピューターと LAN ケーブル (CAT5e) または無線 LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox 内のトラックを選曲および再生できます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループなどの情報を使って演奏できます。
- rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスと USB ケーブルまたは無線 LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox 内のトラックを選曲および再生できます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループなどの情報を使って演奏できます。
- 有線 LAN 接続の場合、rekordbox がインストールされたコンピューターを最大 2 台まで接続できます。
- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、rekordbox がインストールされたコンピューターまたはモバイルデバイスを最大 4 台まで接続できます。

本製品に接続できる iPod/iPhone/iPad

- 本製品は iPhone 5, iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPad (4th generation), iPad mini, iPad (3rd generation), iPad 2, iPad, iPod touch (3rd, 4th, and 5th generation) に対応しています。
- 最新の対応機器については Pioneer ホームページ (http://pioneerdj.com/support/) でご確認ください。

❖ スイッチングハブを使うとき

- 本製品と iPod、iPhone および iPad を接続する場合はお手持ちの iPod ケーブルをお使いください。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ (市販) が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピューターの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。

❖ 無線ルーターおよびアクセスポイントを使うとき

ご注意

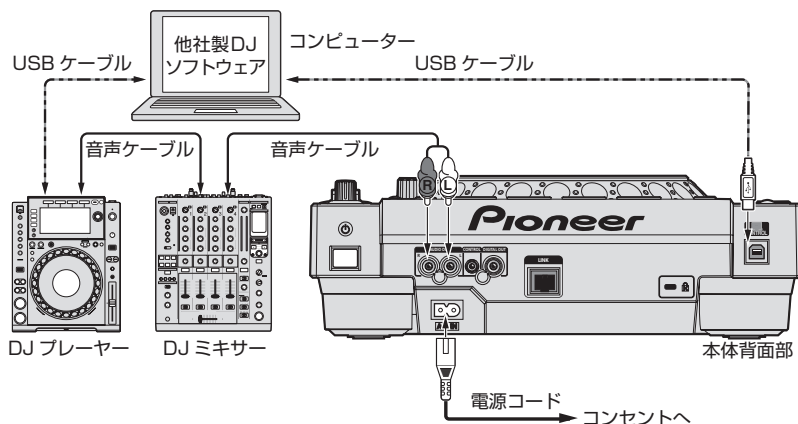
rekordbox の音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、ミキサーに入力した音声ケーブル、同軸デジタルケーブルのチャンネルとプレーヤー番号を合わせてください。

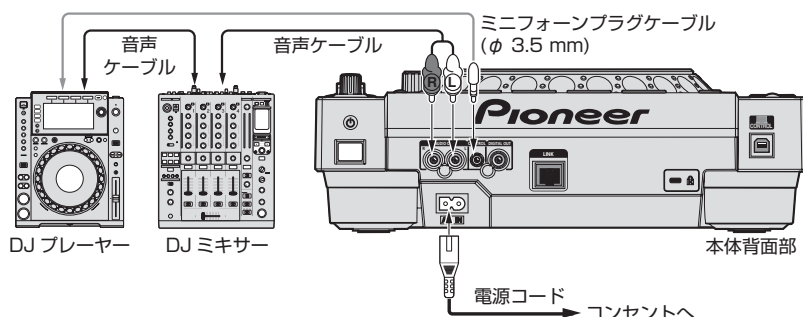
プレーヤー番号が異なるときは [**UTILITY**] 画面から [**PLAYER No.**] を変更してください。

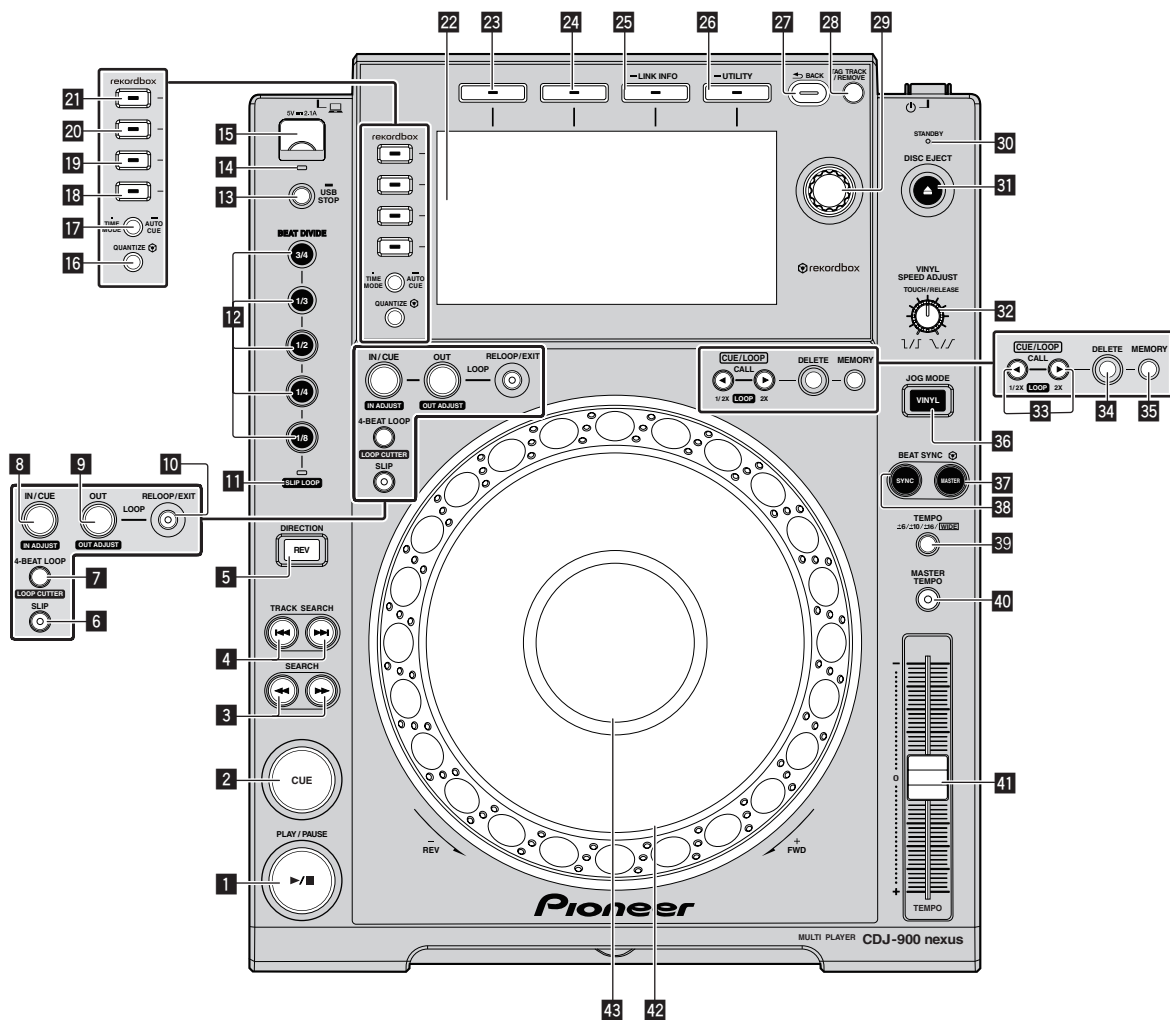
- 本機にメディアがセットされているときは、[**PLAYER No.**] が灰色で表示され、変更できません。メディアを抜き、LAN ケーブルを抜くなどをしてリンクをオフにしてから設定を変更してください。

他社製 DJ ソフトウェアを使う

本機はボタンやテンポ調整つまみなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。詳しくは、34 ページの「ドライバソフトウェアについて（Windows)」および 36 ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください 。

- Mac OS X (10.5.8、10.6、10.7 または 10.8)、Windows Vista®、Windows® XP、または Windows 7、Windows 8/Windows 8 Pro がインストールされているコンピューターを接続してください。

リレー再生のための接続をする

本機とパイオニア製 DJ プレーヤーの [**CONTROL**] 端子どうしをミニフォーンプラグケーブル (ø 3.5 mm) を使って接続すると、2 台の DJ プレーヤーをリレー再生できます (27 ページ)。

各部の名前とはたらき

コントロールパネル

1 PLAY/PAUSE ►/II ボタン

トラックを再生しているとき点灯します。一時停止しているとき点滅します。

➲ 「一時停止する」(p.21)

2 CUE ボタン

キューポイントが設定されているとき点灯します (頭出し (トラックサーチ) 中を除く)。一時停止中に新しいキューポイントが設定できるとき点滅します。

➲ 「キューを設定する」(p.23)

3 SEARCH ◄◄, ►► ボタン

ボタンを押している間、トラックを早送り / 早戻しします。

➲ 「早送り / 早戻しする」(p.21)

4 TRACK SEARCH I◄◄, ►►I ボタン

トラックを頭出しします。

➲ 「頭出しする (トラックサーチ)」(p.21)

5 DIRECTION REV ボタン

逆再生をオン / オフします。

➲ 「逆再生する」(p.21)

6 SLIP ボタン

➲ 「スリップを使う」(p.25)

7 4-BEAT LOOP (LOOP CUTTER) ボタン

自動的にループを設定します。ループ再生中に押すとループを分割します。

➲ 「自動的にループを設定する (4 ビートループ)」(p.24)

8 IN/CUE (IN ADJUST) ボタン

ループインポイントを設定および微調整します。

➲ 「ループを設定する」(p.23)

9 OUT (OUT ADJUST) ボタン

ループアウトポイントを設定および微調整します。

➲ 「ループを設定する」(p.23)

10 RELOOP/EXIT ボタン

ループ再生に戻る (リループ)、またはループ再生を解除します (ループイグジット)。

➲ 「ループ再生に戻る (リループ)」(p.23)

11 SLIP LOOP インジケーター

スリップがオンのとき点灯します。[**SLIP LOOP**] インジケーターが点灯しているとき、[**BEAT DIVIDE**] ボタンを押すとスリップビートループがオンになります。

➲ 「スリップループ」(p.26)

⑫ BEAT DIVIDE ボタン
ビートディバイド機能をオン / オフします。
➲ 「ビートディバイドを使う」(p.25)

⑬ USB STOP ボタン
USB デバイスを取り外す前に 2 秒以上押します。
➲ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.19)

⑭ USB インジケーター
USB デバイスと通信しているときに点滅します。
➲ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.19)

⑮ USB デバイス挿入口
USB デバイスをセットします。
➲ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.19)

⑯ QUANTIZE ボタン
クオンタイズ機能を使うときに押します。
クオンタイズ機能をオンに設定すると、ループインポイント、ループアウトポイント、キューを設定するときに最も近い拍位置にポイントを自動で合わせます。
また、ループ、リバース、スリップなどがビートを崩さずに使えます。
- クオンタイズ機能をオンに設定すると、本体表示部に [**QUANTIZE**] が表示されます。

➲ 「本体表示部」(p.17)
以下の状態ではクオンタイズ機能は働きません (灰色で表示されます)。
- ディスクに記録されているトラックを再生しているとき
- rekordbox で解析されていない音楽ファイルを再生しているとき

⑰ TIME MODE/AUTO CUE ボタン
1 回押すと本体表示部の時間表示方法 (残り時間表示または経過時間表示) を切り換えます。
1 秒以上押すとオートキューをオン / オフします。
➲ 「オートキューを設定する」(p.23)

⑱ DISC ボタン
CD または CD-ROM 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
➲ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)

⑲ USB ボタン
USB デバイス内の音楽ファイルを再生するときに押します。
➲ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)

⑳ LINK ボタン
他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する
➲ 「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.20)

㉑ rekordbox ボタン
rekordbox 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
➲ 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.20)

㉒ 本体表示部
[**BROWSE**] ボタン、[**TAG LIST**] ボタン、[**INFO (LINK INFO)**] ボタンをすべてオフにすると通常再生画面に切り換わります。
➲ 「本体表示部」(p.17)

㉓ BROWSE ボタン
[**BROWSE**] 画面を表示するときに押します。
➲ 「ブラウズ画面に切り換える」(p.27)

㉔ TAG LIST ボタン
[**TAG LIST**] 画面を表示するときに押します。
➲ 「タグリストを編集する」(p.29)

㉕ INFO (LINK INFO) ボタン
[**INFO**] 画面を表示するときに押します。
1 秒以上押すと他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。
➲ 「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」(p.31)

㉖ MENU (UTILITY) ボタン
1 回押すとメニュー画面を表示します。
1 秒以上押すと [**UTILITY**] 画面を表示します。
➲ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.32)

㉗ BACK ボタン
1 回押すと 1 つ前の画面に戻ります。
1 秒以上押すと一番上の階層に移動します。
➲ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)

㉘ TAG TRACK/REMOVE ボタン
タグリストにトラックを追加 / 削除します。
➲ 「タグリストを編集する」(p.29)

㉙ ロータリーセレクター
トラックや設定項目を選ぶとき、ロータリーセレクターを回すとカーソルが移動します。決定するときはロータリーセレクターを押します。

㉚ STANDBY インジケーター
スタンバイ状態のときに点灯します。
➲ 「オートスタンバイを設定する」(p.33)

㉛ DISC EJECT⏏ ボタン
ディスクを取り出します。
➲ 「ディスクの出しかた」(p.19)

㉜ VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASE ツマミ
➲ 「ジョグダイヤルの天面を押して再生が減速して停止するまでの速度、およびジョグダイヤルの天面から手を放して通常の再生に戻るまでの速度を調整する」(p.22)

㉝ CUE/LOOP CALL ◄(LOOP 1/2X), ►(LOOP 2X) ボタン
保存されているキューまたはループを呼び出します。
➲ 「保存されているキューポイントまたはループポイントを呼び出す」(p.24)
ループ再生中に押すとループを分割または延長します。
➲ 「ループを分割する (ループカッター)」(p.24)
➲ 「ループを延長する（ループダブル)」(p.24)

㉞ DELETE ボタン
キューポイントまたはループポイントを消去します。
➲ 「ポイントを個別に消去する」(p.24)

㉟ MEMORY ボタン
キューポイントまたはループポイントを保存します。
➲ 「キューポイントまたはループポイントを保存する」(p.24)

㊱ JOG MODE VINYL ボタン
押すたびに VINYL モードと CDJ モードを切り換えます。VINYL モードを選んでいるとき、インジケーターが点灯します。
➲ 「ジョグダイヤルのモードを切り換える」(p.21)

㊲ BEAT SYNC MASTER ボタン
本機にロードされたトラックをビートシンク機能でのマスターにします。
➲ 「ビートシンクを使う」(p.26)

㊳ BEAT SYNC ボタン
ビートシンク機能をオンします。
➲ 「ビートシンクを使う」(p.26)

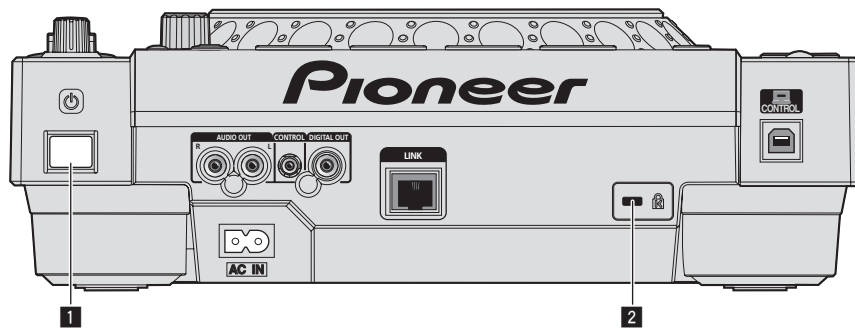
㊴ TEMPO ±6/±10/±16/WIDE ボタン
再生速度の調整範囲を切り換えます。
➲ 「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(p.21)

㊵ MASTER TEMPO ボタン
マスターテンポをオン / オフします。
➲ 「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(p.21)

㊶ TEMPO スライダー
トラックの再生速度を調整します。
➲ 「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(p.21)

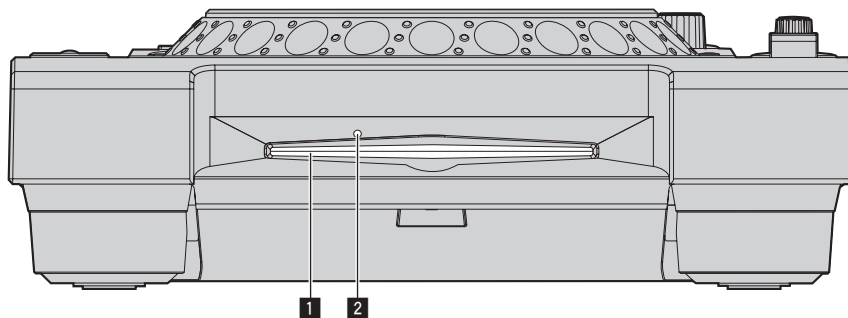
㊷ ジョグダイヤル
スクラッチやピッチベンドなどの操作ができます。
➲ 「ジョグダイヤルを操作する」(p.21)

㊸ ジョグダイヤル表示部
➲ 「ジョグダイヤル表示部」(p.18)

本体背面部

接続に使う端子については、10 ページの「各端子の説明」をご覧ください。

1 ⏻ スイッチ
本機の電源をオン / オフします。

2 ケンジントンロック装着用穴

本体前面部

1 ディスク挿入口

2 ディスク強制取り出しピン挿入穴

ディスクの強制取り出しについて

- [**DISC EJECT**⏏] ボタンを押してもディスクを取り出せないときは、本体前面のディスク強制取り出しピン挿入穴にディスク強制取り出しピンを押し込むことにより、ディスクを強制的に取り出せます。
- ディスクを強制的に取り出すときは、下記の事項を厳守してください。

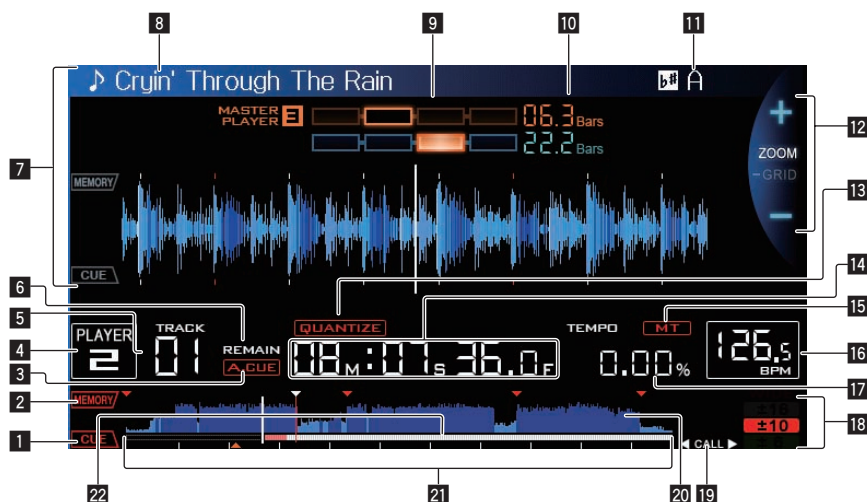
1 [⏻] スイッチを押して本機の電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いて 1 分以上待つ

電源を切ってすぐに強制取り出しを行うと、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。
ディスクが回転したまま本体から排出されるため、指などに当たりケガをする危険があります。
ディスクのクランプが不安定な状態で回転するためディスクに傷がつきます。

2 付属のディスク強制取り出しピンを使う (他のものは使わないでください)

付属のディスク強制取り出しピンは本機底面にはめ込んであります。ピンを挿入穴に根元まで押し込むと、ディスクがディスク挿入口から 5 mm ～ 10 mm ほど排出されますので、指でつまんで引き抜いてください。

本体表示部

通常再生画面

1 CUE
設定しているキューポイントおよびループポイントの位置をマークで表示します。

2 MEMORY
USB デバイスに記録されているキューポイントおよびループポイントをマークで表示します。

3 A. CUE
オートキューを設定しているとき点灯します。
➲「オートキューを設定する」(p.23)

4 PLAYER
本機に割り当てられたプレーヤー番号 (1 ～ 4) を表示します。

5 TRACK
トラック番号 (01 ～ 99) を表示します。

6 REMAIN
時間表示を残り時間表示に設定しているとき点灯します。

7 情報表示部
rekordbox で解析した拡大波形をなどを表示します。

8 曲名

9 PHASE METER
ビートシンク機能でマスタープレーヤーとの小節や拍のズレを表示します。

10 BEAT COUNTDOWN
現在の再生位置から一番近い、保存されたキューポイントまでの小節数、拍数を表示します。

11 KEY
楽曲の KEY (調) を表示します。

12 ZOOM モード、GRID ADJUST モード表示
ロータリーセレクターを 1 秒以上押すと、[**ZOOM**] モードと [**GRID ADJUST**] モードが切り換わります。

- [**ZOOM**] モード：ロータリーセレクターを回すと波形を拡大 / 縮小できます。
- [**GRID ADJUST**] モード：ロータリーセレクターを回すとビートグリッドを調整できます。
  [**MENU (UTILITY)**] ボタンを使ってビートグリッドを調整できます。
  — [**reset**]：調整したビートグリッドをリセットします。
  — [**snap grid (CUE)**]：現在設定されているキューの場所に 1 拍目を移動します。
  — [**SHIFT GRID**]：同期中に調整した結果 (ピッチベンドなど) をビートグリッドに反映します。

13 QUANTIZE
[**QUANTIZE**] をオンに設定しているときに表示されます。

14 時間表示 (分、秒、フレーム)
75 フレームで 1 秒です。

15 MT
マスターテンポを設定しているとき点灯します。
➲「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(p.21)

16 BPM
再生しているトラックの BPM (=Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。

- 本機で測定した BPM 値が CD の記載値、または当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。これは BPM の測定方法などが違うためであり故障ではありません。

17 再生速度表示
[**TEMPO**] スライダーの位置に従って、数値が変化します。

18 再生速度可変範囲表示
メディアに記録されている元々の再生速度に対して、再生速度を調整できる範囲を表示します。

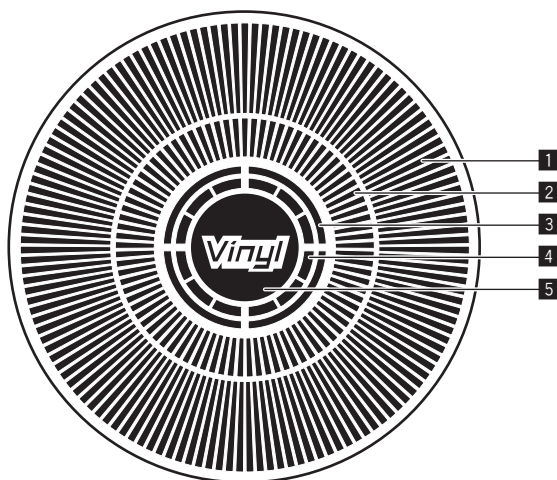
19 CALL/LOOP 拍表示

- ループ中、またはスリップビートループ中以外に [◀ CALL ▶] が表示されます。
  表示されている間は、[**CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)**, **▶(LOOP 2X)**] ボタンでキューポイントまたはループポイントを呼び出すことができます。
- ループ中は [4 ◀ LOOP ▶] が表示されます。枠内には、[**CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)**, **▶(LOOP 2X)**] ボタンで設定した数字が表示されます。
  表示されている間は、[**CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)**, **▶(LOOP 2X)**] ボタンでループカッターまたはループダブルができます。
- スリップビートループ中は、[1/2 ◀ LOOP ▶] が表示されます。枠内には、[**CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)**, **▶(LOOP 2X)**] ボタンで設定した数字が表示されます。
  表示されている間は、[**CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)**, **▶(LOOP 2X)**] ボタンでループカッターまたはループダブルができます。

20 WAVE 表示
WAVE またはガイドなどを表示します。

21 プレーイングアドレス表示 / 目盛表示（1 分間隔）
トラック (1 曲) を棒グラフで表示します。現在の再生位置を白色の縦線で表示します。経過時間を表示するときはグラフの左端から点灯します。残り時間を表示するときは左端から消灯します。トラックの残り時間が 30 秒以下になるとグラフ全体がゆっくり点滅し、15 秒以下になると早く点滅します。

22 キャッシュメーター
現在再生中の曲が、曲のどの部分までメモリー上にキャッシュされているかを表示します。

ジョグダイヤル表示部

1 動作表示
1 周 135 フレームとして再生位置を表示します。再生中は回転し一時停止中は停止します。

2 キューポイント表示 / スリップ再生表示

3 音声メモリー状態表示
音声メモリー書き込み中に点滅します。書き込みが完了すると点灯します。
音声メモリーを書き込み中は、リアルタイムキューの操作ができないことがあります。
スクラッチプレイによってメモリーが不足したときも点滅します。

4 ジョグタッチ検出表示
ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤル天面を押すと点灯します。

5 **VINYL**
ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき点灯します。
➲ 「ジョグダイヤルを操作する」(p.21)

操作する (基本編)

電源の入れかた

1 各接続を行い、コンセントに電源コードを挿す

➲ 「接続する」(p.10)

2 [⏻] スイッチを押す

本機のインジケーター類が点灯し、電源がオンになります。

電源の切りかた

[⏻] スイッチを押す

本機の電源がオフになります。

- USB インジケーターが点灯中または点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

ディスクの入れかたと出しかた

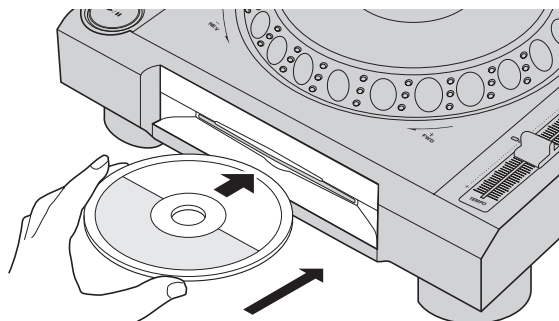
- 本機は 1 枚型のプレーヤーです。複数のディスクは挿入できません。
- 本機の電源がオフのとき、本機のディスク挿入口に無理にディスクを入れないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。
- 本機がディスクを引き込もうとしているとき、または排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

ディスクの入れかた

1 [⏻] スイッチを押して、本機の電源を入れる

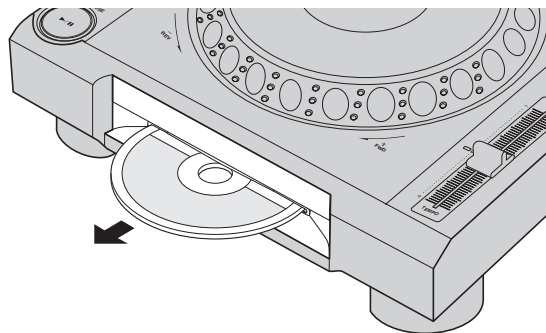
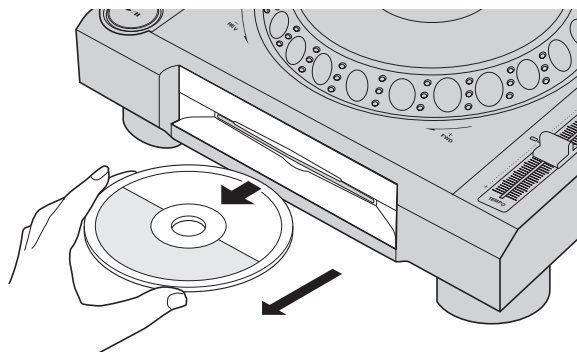
2 印刷面を上にして、ディスクを水平にディスク挿入口に入れる

メディアの読み込みが終了すると、再生を開始します。

- 音楽ファイルが階層構造で記録されているディスクをセットしたときは、一番上の階層に入っているトラックから再生します。

- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[**PLAY/PAUSE▶/II**] ボタンを押すと再生が始まります。
  - ➲ オートキューについては、23 ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。
- 以前に本機またはパイオニア製 DJ プレーヤーにセットした USB デバイスがセットされているときは、ディスクを挿入すると、ディスク情報を記録しているディスク枚数が本体表示部に数秒間表示されます。

ディスクの出しかた

1 [DISC EJECT⏏] ボタンを押してディスクを取り出す

ディスク挿入口からディスクが排出されます。

2 ディスクの信号面に傷をつけないように引き抜く

- 誤って [**DISC EJECT⏏**] ボタンが押された場合は、すぐに [**PLAY/PAUSE▶/II**] ボタンを押すと、排出を中止して直前の状態に復帰します (復帰処理中は、音声が出力されません)。
- [**UTILITY**] メニューの [**EJECT/LOAD LOCK**] が [**LOCK**] に設定されているときは、再生中にディスクを取り出すことができません。[**EJECT/LOAD LOCK**] を [**UNLOCK**] に設定するか、[**PLAY/PAUSE▶/II**] ボタンを押して一時停止してから [**DISC EJECT⏏**] ボタンを押してください。

❖ レジューム機能について

再生しながらディスクを抜いた場合は、また同じディスクを挿入すると抜いた時点の再生位置から再生を始めます。一時停止中にディスクを抜いた場合は、また同じディスクを挿入すると抜いた時点の再生位置で一時停止します。これらは本機の電源が OFF されるか、違うディスクがセットされるまで記憶されます。

- USB デバイスではこの機能は使えません。

USB デバイスの付けかたと外しかた

USB デバイスの接続のしかた

1 [⏻] スイッチを押して、本機の電源を入れる

2 USB デバイス挿入口に USB デバイスを接続する

USB デバイスの外しかた

1 USB インジケーターが消灯するまで [USB STOP] ボタンを押す

USB インジケーターが点灯中または点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

2 USB デバイスを引き抜く

再生する

ここでは基本的な選曲操作と画面の切り換えかたを説明します。

➲「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.20)
➲「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.20)

本機にセットされたメディアを再生する

1 メディアを本機にセットする

➲「ディスクの入れかた」(p.19)
➲「USB デバイスの接続のしかた」(p.19)

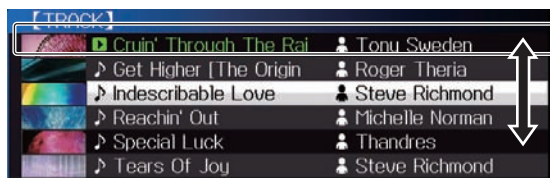
2 メディアボタン ([DISC]、[USB] のいずれか) を押す

トラックやフォルダがリストになって表示されます。
本体表示部に表示するメディアの中身を切り換えることができます。
[**DISC**] ボタン：挿入されているディスクの中身を表示します。
[**USB**] ボタン：接続されている USB デバイス、モバイルデバイスの中身を表示します。

➲ [**LINK**] ボタンについて、詳しくは 20 ページの「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」を参照してください。
➲ [**rekordbox**] ボタンについて、詳しくは 20 ページの「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」を参照してください。

- USB デバイス内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。
  ➲ rekordbox のライブラリブラウズについて、詳しくは 20 ページの「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」を参照してください。

3 ロータリーセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

- フォルダの下位階層に進むときはロータリーセレクターを押します。上位階層に戻るときは [**BACK**] ボタンを押します。
- [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。
- [**TRACK SEARCH** ◀◀, ▶▶|] ボタンを使っても、再生しているトラックが含まれているカテゴリー / フォルダ内のトラックを選べます。
- rekordbox (iOS/Android) のトラックはシングルモードで動作するため、[**TRACK SEARCH**] ボタンによるサーチはできません。

4 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると画面は通常再生画面に切り換わります。
トラックがロードされて再生が始まります。

➲ 通常再生画面については、17 ページの「本体表示部」をご覧ください。

- [**UTILITY**] メニューの [**EJECT/LOAD LOCK**] が [**LOCK**] に設定されているときは、再生中に新たなトラックのロードはできません。[**EJECT/LOAD LOCK**] を [**UNLOCK**] に設定するか、[**PLAY/PAUSE▶/II**] ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
- 一時停止してからトラックをロードした場合、[**PLAY/PAUSE▶/II**] ボタンを押すと再生が始まります。
- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[**PLAY/PAUSE▶/II**] ボタンを押すと再生が始まります。
  ➲ オートキューについては、23 ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。

他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する

PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている記録メディア、または rekordbox をインストールしたモバイルデバイスの中身を本機の画面に表示します。

- 他のプレーヤーに挿入されているディスクの情報はブラウズできません。

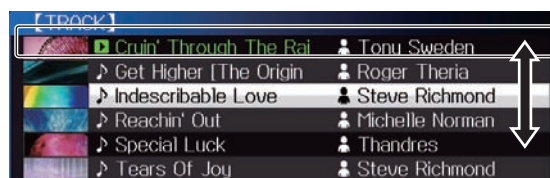
1 記録メディア、または rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを PRO DJ LINK 接続中の他プレーヤーにセットする

2 [LINK] ボタンを押す

他プレーヤーに挿入されている記録メディア、または rekordbox をインストールしたモバイルデバイスのトラックやフォルダが表示されます。

- 複数のメディアが接続されている場合は、メディアの選択画面が表示されます。
- 記録メディア内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。
  ➲ rekordbox のライブラリブラウズについて、詳しくは 20 ページの「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」を参照してください。

3 ロータリーセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

4 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると画面は通常再生画面に切り換わります。
トラックがロードされて再生が始まります。

➲ 通常再生画面については、17 ページの「本体表示部」をご覧ください。

❖ rekordbox のライブラリが書き込まれていた場合

本機または PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている記録メディア内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。

- 音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー (アルバム、アーティストなど) で表示します。
- カテゴリーメニューの項目の種類は、rekordbox のプリファレンス (環境設定) で変更できます。

コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する

音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー (アルバム、アーティストなど) で表示します。

1 [rekordbox] ボタンを押す

rekordbox のライブラリが本機の本体表示部に表示されます。

- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、接続時に本機の本体表示部に [**接続を許可する場合は、ロータリーセレクタを押してください。**] が表示されたら、ロータリーセレクターを押すと接続できます。
- USB 接続したモバイルデバイスを選ぶときは [**USB**] ボタンを押してください。
  また PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに接続したモバイルデバイスを選ぶときは [**LINK**] ボタンを押してください。

2 ロータリーセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

3 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると画面は通常再生画面に切り換わります。
トラックがロードされて再生が始まります。

➲ 通常再生画面については、17 ページの「本体表示部」をご覧ください。

ロード・プリビアス・トラック

過去再生された最新 6 曲の曲名を表示して選曲できます。

1 通常再生画面を表示する

2 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

3 ロータリーセレクターを回して曲を選び、ロータリーセレクターを押して再生を決定する

- [**MENU**]、[**BACK**] ボタンで曲名表示が消えます。

一時停止する

再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す

[**PLAY/PAUSE►/II**] ボタンと [**CUE**] ボタンが点滅します。もう一度 [**PLAY/PAUSE►/II**] ボタンを押すと再生を再開します。

- ディスクからトラックをロード中の場合、一時停止したまま 100 分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転を停止します。

早送り / 早戻しする

[SEARCH ◄◄, ►►] ボタンを押す

[**SEARCH ◄◄, ►►**] ボタンを押し続けている間、早送り / 早戻しします。

- カテゴリー / フォルダを飛び越えて早送り / 早戻しはできません。

頭出しする (トラックサーチ)

[TRACK SEARCH I◄◄, ►►I] ボタンを押す

[►►I] を押すと次のトラックの先頭に進みます。
[I◄◄] を押すと再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前のトラックの先頭に戻ります。

- カテゴリー / フォルダを飛び越えて頭出しはできません。
- rekordbox (iOS/Android) の曲はシングルモードで動作するため、他のトラックへのサーチはできません。

再生速度を調整する (テンポコントロール)

[TEMPO ±6/±10/±16/WIDE] ボタンを押す

押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が切り換わります。可変範囲の設定値が本体表示部に表示されます。

設定値	調整単位
±6	0.02 %
±10	0.05 %
±16	0.05 %
WIDE	0.5 %

[**WIDE**] の調整範囲は± 100 % です。− 100 % に設定すると再生が停止します。

- 電源をオンしたときは± 10 % に設定されます。

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

[+] (手前) 側に動かすと再生速度が速くなり、[−] (奥) 側に動かすと再生速度が遅くなります。再生速度を変化させている割合が再生速度表示に表示されます。

音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)

1 [MASTER TEMPO] ボタンを押す

[**MASTER TEMPO**] ボタンと本体表示部の [**MT**] が点灯します。

2 [TEMPO] スライダーを前後に動かす

[**TEMPO**] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

逆再生する

- クオンタイズ機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

[DIRECTION REV] ボタンを押す

ボタンが点灯し、逆方向に再生します。

- 音楽ファイルがフォルダ構造で記録されているときは、同じカテゴリー / フォルダに入っているトラックだけ逆再生できます。また、逆再生がすぐに始まらないことがあります。
- ジョグダイヤルの回転方向に応じた演奏の加・減速が逆向きになります。
- 逆再生中に、頭出し (トラックサーチ) やループ再生などの操作をすると、ジョグダイヤル表示部の音声メモリー状態表示が点滅してスクラッチプレイができないことがあります。

ジョグダイヤルを操作する

- ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
- 飲料水などの液体が製品内部に入ると故障の原因になります。

ジョグダイヤルのモードを切り換える

[JOG MODE VINYL] ボタンを押す

ボタンを押すたびに VINYL モードと CDJ モードが切り換わります。

- VINYL モード : 再生中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回すと回転に応じた音声が出ます。
- CDJ モード : ジョグダイヤルの天面を押しても再生は停止しません。またスクラッチなどの操作ができません。

ピッチベンド

再生中にジョグダイヤルの天面を触らずに外周部分を回す

時計回りに回すと再生速度が加速します。反時計回りに回すと再生速度が減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。

- ジョグモードを CDJ モードに設定しているときは、ジョグダイヤルの天面を回しても同じ操作ができます。

スクラッチ

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤルの天面を押しながら回すことによってジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じた再生ができます。

1 [JOG MODE VINYL] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 再生中にジョグダイヤルの天面を押す

再生が減速してから停止します。

3 ジョグダイヤルを再生したい方向と速度で回す

ジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じて音声が再生されます。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

通常の再生に戻ります。

フレームサーチ

一時停止中にジョグダイヤルを回す

0.5 フレーム単位で一時停止位置を移動できます。

- 時計回りで再生方向、反時計回りで逆方向に移動します。ジョグダイヤルを 1 回転すると 135 フレーム移動します。

スーパー・ファースト・サーチ

[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速で早送り / 早戻しします。

- [**SEARCH ◀◀**, **▶▶**] ボタンから指を放すと、この機能は解除されます。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、通常の再生を再開します。
- ジョグダイヤルの回転速度に応じて早送り / 早戻し速度を調節できます。

スーパー・ファースト・トラックサーチ

[TRACK SEARCH |◀◀, ▶▶|] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速でトラックを送ります。

ジョグダイヤルの天面を押して再生が減速して停止するまでの速度、およびジョグダイヤルの天面から手を放して通常の再生に戻るまでの速度を調整する

[VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASE] を回す

右に回すほど速度が遅くなり、左に回すほど速度が速くなります。

- ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、[**PLAY/PAUSE▶/II**] を押して再生が開始および停止する速度も同時に変更されます。

操作する（応用編）

キューを設定する

1 再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す
再生を一時停止します。

2 [CUE] ボタンを押す
一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。
[**PLAY/PAUSE**►/II] インジケーターが点滅し、[**CUE**] インジケーターが点灯します。このとき音声は出力されません。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントの位置を修正する

1 キューポイントで一時停止中に [SEARCH ◄◄, ►►] ボタンを押す
[**PLAY/PAUSE**►/II] インジケーターと [**CUE**] インジケーターが点滅します。

2 [SEARCH ◄◄, ►►] ボタンを押す
0.5 フレーム単位でキューポイントを微調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。

3 [CUE] ボタンを押す
ボタンを押した位置が新しいキューポイントに設定されます。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントに戻る（バックキュー）

再生中に [CUE] ボタンを押す
設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。
- [**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンを押すと、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）

キューポイントに戻ったあとに [CUE] ボタンを押し続ける
設定されているキューポイントから再生が始まります。[**CUE**] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。
- キューサンプラー中に [**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンを押すと、[**CUE**] ボタンから指を放してもそのまま続けて再生します。

再生しながらキューポイントを設定する（リアルタイムキュー）

再生中にキューポイントに設定したい位置で [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
ボタンを押した位置がキューポイントに設定されます。

オートキューを設定する

トラックをロードしたとき、または頭出し（トラックサーチ）したとき、トラック先頭の無音部分を飛ばして音声が始まる直前に自動でキューポイントを設定します。

[TIME MODE/AUTO CUE] ボタンを 1 秒以上押す
[**A. CUE**] が点灯します。
- [**TIME MODE**（**AUTO CUE**）] をふたたび 1 秒以上押すと、オートキューがオフに設定されます。
- 電源をオフにしてもオートキューの設定は記憶されます。

ループを設定する

指定した区間を繰り返し再生できます。
- 音楽 CD(CD-DA) に収録されているトラックのみ、トラックをまたいだループ再生区間を設定することができます。
- クオンタイズ機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。
（リループ、4 ビートループ、8 ビートループのみ）

1 再生中にループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
ループインポイントが設定されます。
- あらかじめ設定されているキューポイントをループインポイントにするときは、この操作は必要ありません。

2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループインポイントを微調整する（ループインアジャスト）

1 ループ再生中に [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
[**IN/CUE** (**IN ADJUST**)] ボタンが速い点滅に変わり、[**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンが消灯します。
本体表示部にループインポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◄◄, ►►] ボタンを押す
0.5 フレーム単位でループインポイントを微調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
- ループインポイントの調整可能範囲は± 30 フレームです。
- ループインポイントはループアウトポイントより後ろに設定することはできません。

3 [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
ループ再生に戻ります。
- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループアウトポイントを微調整する（ループアウトアジャスト）

1 ループ再生中に [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す
[**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンが速い点滅に変わり、[**IN/CUE** (**IN ADJUST**)] ボタンが消灯します。
本体表示部にループアウトポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◄◄, ►►] ボタンを押す
0.5 フレーム単位でループアウトポイントを調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
- ループアウトポイントはループインポイントより手前に設定することはできません。

3 [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す
ループ再生に戻ります。
- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループ再生を解除する（ループイグジット）

ループ再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す
ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

ループ再生に戻る（リループ）

ループ再生を解除したあと、再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す
前回設定したループインポイントに戻りループ再生を再開します。

自動的にループを設定する (4 ビートループ)

再生中に [4-BEAT LOOP/LOOP CUTTER] ボタンを押す
再生しているトラックの BPM に合わせて、押した位置から 4 拍のループが自動で設定され、ループ再生を始めます。
- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。

❖ 別の操作方法

再生中に [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを 1 秒以上押す
再生しているトラックの BPM に合わせて、押した位置から 4 拍のループが自動で設定され、ループ再生を始めます。
- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。

❖ 8ビートループ

再生中に [4-BEAT LOOP/LOOP CUTTER] を 1 秒以上押す
押した位置から 8 拍のループが自動で設定され、ループ再生を始めます。

ループを分割する (ループカッター)

ループ再生中に [CUE/LOOPCALL◀(LOOP 1/2X)] ボタンを押す
ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

❖ 別の操作方法

ループ再生中に [4-BEAT LOOP/LOOP CUTTER] ボタンを押す
ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

ループを延長する（ループダブル）

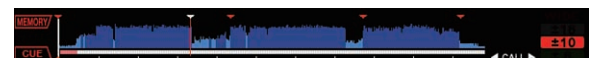
ループ再生中に [CUE/LOOPCALL▶(LOOP 2X)] ボタンを押す
ボタンを押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

❖ 別の操作方法

ループ再生中に [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押しながら [4-BEAT LOOP/LOOP CUTTER] ボタンを押す
押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

アクティブループを使う

1 USB デバイスを本機にセットする

2 rekordbox でアクティブループを設定したトラックをロードする
rekordbox で保存されたループの 1 つをアクティブループとして設定できます。
設定したアクティブループポイントは波形表示に以下の赤線のように表示されます。

再生位置が設定ポイントを通過すると自動でループが設定され、ループ再生を始めます。

エマージェンシーループ

本機は曲が再生し続けられなくなった場合、音切れを防ぐために自動で 4 ビートループを設定します。
- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。エマージェンシーループを解除するには、次の曲をロードしてください。

キューポイントまたはループポイントを保存する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを設定する

3 [MEMORY] ボタンを押す
本体表示部に [**MEMORY**] が数秒間表示され、USB デバイスにポイント情報が記録されます。
記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に [▼] で表示されます。
- PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーにセットされているメディアを選ぶこともできます。
- ループポイントを保存するときは、ループ再生中に [**MEMORY**] ボタンを押します。保存したループポイントがプレーイングアドレス表示に表示されます。

保存されているキューポイントまたはループポイントを呼び出す

1 USB デバイスを本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを呼び出したいトラックをロードする
記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に [▼] で表示されます。

3 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] ボタンを押す
現在の再生位置よりも手前のポイントを呼び出したい場合は、[**CUE/LOOP CALL◀**(**LOOP 1/2X**)] を押します。後ろのポイントを呼び出したい場合は、[**CUE/LOOP CALL▶**(**LOOP 2X**)] を押します。
呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。
- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびに他のポイントを呼び出します。
- アクティブループとして設定されているループも保存されたループとして呼び出せます。

4 [PLAY/PAUSE ▶/❚❚] ボタンを押す
呼び出したポイントから再生またはループ再生を始めます。

保存されたキューポイントまたはループポイントを消去する

ポイントを個別に消去する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを消去したいトラックをロードする
記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に [▼] で表示されます。

3 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] ボタンを押して、消去したいポイントを呼び出す
呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびに他のポイントを呼び出します。

4 [DELETE] ボタンを押す

本体表示部に [DELETE] と表示され、選んだポイント情報が消去されます。

- アクティブループとして設定されている保存されたループを消去した場合、アクティブループも消去されます。

ポイントをディスク単位で消去する

1 ディスクを本機にセットする

ディスク以外のメディアからトラックがロードされている場合は、ディスクに収録されているいずれかのトラックをロードします。

2 USB デバイスを本機にセットする

キューポイントまたはループインポイントを、プレーイングアドレス表示にマークで表示します。

3 [DELETE] ボタンを 5 秒以上押す

本体表示部に [**DISC CUE/LOOP DATA-DELETE? PUSH MEMORY**] と表示されます。

4 [MEMORY] ボタンを押す

本機にセットされているディスクに関するキューポイントまたはループポイントが消去されます。

- [**MEMORY**] ボタン以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

USB デバイスに記録されているディスクの情報をすべて消去する

ディスク情報が記憶された USB デバイスを本機にセットする

1 本機にディスクをセットしていない状態で、[DELETE] ボタンを 5 秒以上押す

本体表示部に [**DISC CUE/LOOP DATA-DELETE ALL? PUSH MEMORY**] と表示されます。

2 [MEMORY] ボタンを押す

USB デバイスに記録されているディスクの情報がすべて消去されます。

- [**MEMORY**] ボタン以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

オートキューのキューポイントを設定する

オートキューとして設定されるキューポイントを以下の方法から選ぶことができます。

無音部として認識する音圧レベルによる設定 (8 段階)

– 36 dB、– 42 dB、– 48 dB、– 54 dB、– 60 dB、– 66 dB、– 72 dB、 – 78 dB

保存されたキューを自動でキューポイントにする設定

MEMORY：曲の始めに最も近い保存されたキューポイントがオートキューのキューポイントに設定されます。

- [**MEMORY**] を設定した場合は本体表示部の [**A. CUE**] が白色で点灯します。

オートキューのキューポイントの設定は、以下の方法で変更できます。

[MENU (UTILITY)] を使うとき

1 [MENU (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

[**UTILITY**] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回してから押す

[**AUTO CUE LEVEL**] を選びます。

3 ロータリーセレクターを回してから押す

音圧レベルの値、または [**MEMORY**] を選びます。

[TIME MODE (AUTO CUE)] を使うとき

1 [TIME MODE/AUTO CUE] ボタンを 5 秒以上押す

本体表示部に現在の設定値が表示されます。

2 [CUE/LOOP CALL ◄(LOOP 1/2X)] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL ►(LOOP 2X)] ボタンを押す

音圧レベルの値、または [**MEMORY**] を選びます。

ビートディバイドを使う

1 拍分の音声を選んだ拍の長さで分割して再生します。

- ビートディバイドを使うときは、スリップをオフにしてください。

再生中に [BEAT DIVIDE] ボタンを押す

ビートディバイドが開始されます。

- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。
- クオンタイズの機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

ビートディバイドを解除する

選んでいる [BEAT DIVIDE] ボタンを押す

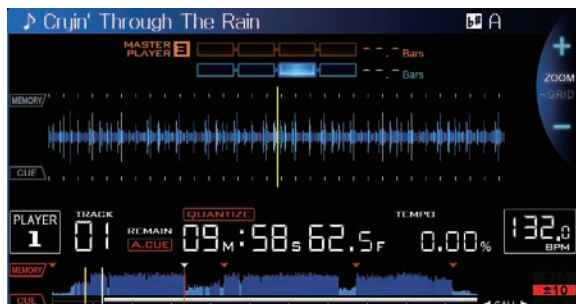
ビートディバイドが解除されます。

- ビートディバイドはトラックをロードしたときにも解除されます。

スリップを使う

スリップをオンすると一時停止中（VINYL モード中)、スクラッチプレイ中、ループ再生中、または逆再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スリップ動作を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。
  (スリップビートループ、スリップリバースのみ)

バックグラウンドでの再生位置の表示

- スリップモード中は、現在再生位置は本体表示部の波形表示 (全体波形、拡大波形）に黄色の線で表示されます。バックグラウンドでの再生位置は本体表示部の波形表示（ 全体波形）に白色の線で表示されます。
- また、ジョグダイヤルのスリップ再生表示にも表示されます。

スリップポーズ

1 [JOG MODE VINYL] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す

一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
バックグラウンド再生の拍に合わせて [**SLIP**] ボタンが点滅します。

4 [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押して一時停止を解除する
- スリップポーズを解除するとバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。その際、[VINYL SPEED ADJUSTTOUCH/RELEASE] ツマミの調整値は無効となり、通常の速度で再生が始まります。

スリップスクラッチプレイ

1 [JOG MODE VINYL] ボタンを押す
ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

3 再生中にジョグダイヤルの天面を押す
スクラッチプレイします。
スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す
バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップループ

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押してから [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す
ループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。
- 8 秒以上のループは設定できません。
- [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを 1 秒以上押してループを設定した場合も同じ動作をします。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す
ループが解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップビートループ

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [BEAT DIVIDE] ボタンを押し続ける
自動的にループが設定されてループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。
- [BEAT DIVIDE] ボタンから指を放さずに別のボタンを押し、別の拍を選ぶこともできます。

3 [BEAT DIVIDE] ボタンから指を放す
バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

4 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す
最後に設定したループが再生され、スリップループになります。
- [BEAT DIVIDE] ボタンから指を放さずに別の拍を選んだあと、スリップビートループを解除した場合、[RELOOP/EXIT] ボタンで呼び出されるループは最初（再生中）に設定したループになります。

スリップリバース

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 再生中に [DIRECTION REV] ボタンを押す
ボタンが点灯し、逆方向に再生します。
逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。
- スリップリバースは [DIRECTION REV] を押した位置から 8 拍経過した位置で自動的に解除されます。バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- 8 拍経過する前にもう一度 [DIRECTION REV] を押すと、スリップリバースを解除してバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップモードを解除する

[SLIP] ボタンを押す
スリップモードが解除されます。
- スリップモードは、トラックをロードしたときにも解除されます。

ビートシンクを使う

ビートシンクをオンにすると本機で再生するトラックの BPM と拍位置を PRO DJ LINK 接続されているシンクマスターに設定した DJ プレーヤーに自動的に合わせることができます。
- rekordbox で解析していないトラックではビートシンクは動作しません。

1 シンクマスターにしたい DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す
シンクマスターにしたい DJ プレーヤーを決定します。
ビートシンクが機能しているときは、シンクマスターにした DJ プレーヤーの BPM 表示部分がオレンジ色に変化します。
- シンクマスターは rekordbox にすることもできます。
  - ➲ rekordbox をシンクマスターにする方法については、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

2 [BEAT SYNC] ボタンを押す
再生中のトラックの BPM と拍位置がシンクマスターに同期します。
- 同期が行われるとテンポスライダーによるテンポコントロールが無効になり再生速度表示がテンポスライダーの位置の BPM 表示に変わり灰色で表示されます。

シンクマスターにする DJ プレーヤーを変更する

以下の方法によりシンクマスターを PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーに変更することができます。
- シンクマスターにしている DJ プレーヤーの曲を変更する、または一時停止する。
- シンクマスターにしている DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す。
- シンクマスター以外の DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す。

同期を解除する

[BEAT SYNC] ボタンを押す
- 同期中の再生テンポ（BPM）とスライダーの位置のテンポ（BPM）が一致していない時は同期中の再生テンポを維持してテンポスライダーでのテンポコントロールは無効のままになります。テンポスライダーの位置を同期中の再生テンポのところへ移動させると通常の動作に戻ります。

他機器と組み合わせて操作する

パイオニア製 DJ ミキサーと LAN ケーブルを使って接続すると、本機の再生を始めるなどの操作を、DJ ミキサーとのフェーダーで制御できます。
- あらかじめ本機とパイオニア製 DJ ミキサーを接続してください。接続の仕方については、10 ページの「接続する」をご覧ください。
- プレーヤー番号の設定については、3 ページの「PRO DJ LINK」をご覧ください。
- パイオニア製 DJ ミキサーの取扱説明書に掲載されているフェーダースタート機能もあわせてご覧ください。

DJ ミキサーのフェーダーを使って再生を始める（フェーダースタート）

1 本機とパイオニア製 DJ ミキサーを LAN ケーブルを使って接続する

接続方法については、10 ページの「基本スタイル」をご覧ください。

- パイオニア製 DJ ミキサーに LAN 接続端子がないときは、ミニフォーンプラグケーブル（ø 3.5 mm）をコントロール端子に接続してください。

2 DJ ミキサーのフェーダースタート機能をオンにする

3 本機のキューを設定する

4 DJ ミキサーのチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを動かす

本機の一時停止状態を解除して瞬時にトラックを再生します。

- チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーの位置を元に戻すと、設定していたキューポイントに戻り頭出しされて一時停止状態になります（バックキュー）。

2 台の DJ プレーヤーをリレー再生する

1 本機と DJ ミキサーを接続する

接続方法については、13 ページの「リレー再生のための接続をする」をご覧ください。

2 DJ ミキサーのクロスフェーダーを中央位置に設定する

3 2 台の DJ プレーヤーのオートキューをオンにする

DJ プレーヤーのオートキューインジケーターが点灯します。

4 本機の再生を始める

本機が 1 トラック目を再生し終わるともう 1 台の DJ プレーヤーが自動的に再生を始めます。本機は次トラックの先頭で頭出しされて一時停止状態になります。この繰り返しにより自動的に 2 台の DJ プレーヤーでリレー再生できます。

- 2 台の DJ プレーヤーを同じ DJ ミキサーに接続していないときは、リレー再生できないことがあります。
- 再生中の DJ プレーヤーの電源がオフになったときは、もう一方の DJ プレーヤーが再生を始めることがあります。

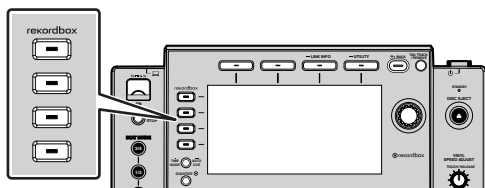
トラックをブラウズする

各メディアや接続されたコンピューター上の rekordbox のライブラリをブラウズして、トラックをリスト表示することができます。

- rekordbox のライブラリ情報が入っていない USB デバイスをブラウズしたときは、フォルダとトラック（音楽ファイル）を階層構造でリスト表示します。

ブラウズ画面に切り換える

表示したいメディアに対応したメディアボタンを押す

ボタンを押すと、各ソースの内容がリスト表示されます。

- [**DISC**] ボタン：挿入されているディスクの中身を表示します。
- [**USB**] ボタン：接続されている USB デバイス、モバイルデバイスの中身を表示します。
- [**LINK**] ボタン：PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーにセットされている記録メディア、または rekordbox をインストールしたモバイルデバイスの中身を表示します。
- [**rekordbox**] ボタン：PRO DJ LINK（LINK Export）接続されている rekordbox を表示します。

- ブラウズ画面表示中に [**BROWSE**] ボタンを押すと、ブラウズ画面を閉じて通常再生画面に戻ります。
もう一度、[**BROWSE**] ボタンを押すと、前回のブラウズ画面を開きます。

❖ 画面の見かた

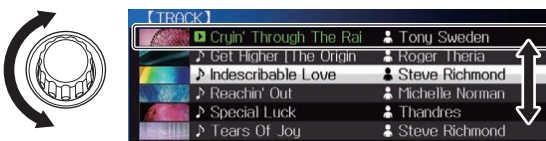
1	メディアセレクト	押されたメディアボタン（[**DISC**]、[**USB**]、[**LINK**]、[**rekordbox**]）に対応した表示が点灯します。 トラックがロードされているメディアが点滅します。
2	内容一覧	選んでいるメディアの内容を表示します。
3	ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [**INFO (LINK INFO)**] ボタンを押すとジャケット写真が消えて、曲名が左詰めで表示されます。 プレイリスト、演奏履歴リストのときは、連番が表示されます。 rekordbox ライブラリがないときは、常に曲名が左詰めで表示されます。
4	上位階層	表示されている項目の上位フォルダまたはメディアの名前を表示します。
5	カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
6	ユーザー設定カテゴリー	rekordbox で表示するカテゴリーを選ぶことができます。 [**INFO (LINK INFO)**] ボタンを押すとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。 rekordbox ライブラリがない場合は、カーソルで選んでいるトラックの詳細情報が表示されます。
7	モードセレクト	押された [**BROWSE**]、[**TAG LIST**]、[**INFO**]、[**MENU**] ボタンに対応した表示が点灯します。 通常再生画面を表示している場合、すべてのボタンが消灯します。

ブラウズ画面での基本操作

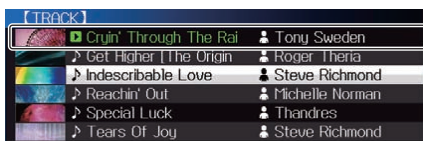
❖ 項目を選ぶ

1 ブラウズ画面を表示します

➲「ブラウズ画面に切り換える」（p.27）

2 ロータリーセレクターを回して項目を選ぶ

ロータリーセレクターを 1 秒以上押すと、ジャンプ機能が使えます。

➲ ジャンプ機能について詳しくは、28 ページの「ジャンプ機能を使って探す」をご覧ください。

3 ロータリーセレクターを押して項目を決定する

下に階層があるときは、その階層を開きます。メニューなどが表示されているときは、選択中の項目を決定します。
トラックにカーソルを当てた状態でロータリーセレクターを押すと、そのトラックを本機にロードします。

❖ 階層を戻る

ブラウザ画面表示中に [BACK] ボタンを押す

階層を 1 つ上に戻します。

- [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。
- USB デバイスまたはコンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する場合には、最上位階層で [**BACK**] ボタンを押すと以下の情報を見ることができます。
  - — USB デバイスに rekordbox のライブラリ情報がない場合：そのメディアの空き容量と使用容量
  - — USB デバイスに rekordbox のライブラリ情報がある場合：そのメディアの空き容量と使用容量、ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数、更新日
  - — コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox：ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数

その他のブラウズ操作

トラックを並べ替える (ソートメニュー)

ブラウズしているとき、ソートメニューを使ってトラックを並べ替えられます。

- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
  - — コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
  - — USB デバイスの rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

1 rekordbox ライブラリを表示させる

➲ 「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.20)
➲ 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.20)

2 トラックがリスト表示されているときに [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

画面にソートメニューが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、ソートしたい項目を選んで決定する

選んだ項目に従ってリスト上のトラックが並び替わります。

- ソートメニューに表示させる並べ替え項目は、rekordbox の設定で変更できます。USB デバイス上の rekordbox ライブラリは、設定を変更したあとに再度エクスポートすると反映されます。

トラックを探す

- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
  - — コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
  - — USB デバイスの rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

❖ [SEARCH] カテゴリーを使って探す

ライブラリブラウズしているとき、[**SEARCH**] カテゴリーを使ってトラックを検索できます。

1 rekordbox ライブラリを表示させる

➲ 「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.20)
➲ 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.20)

2 ロータリーセレクターを使って、カテゴリーで [SEARCH] を選んで決定する

本体表示部の下端に文字が表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って文字を入力する

入力した文字を含むトラックだけ表示します。

- 続けて文字を入力すると、入力した文字列を含むトラックだけ表示します。
- [**BACK**] ボタンを押すとカテゴリー選択画面に戻ります。

再生中の曲の KEY (調) を使って探す

表示されているカテゴリーが KEY 表示のとき、再生曲の KEY と相性の良い曲の KEY アイコンが緑色に変わります。

ジャンプ機能を使って探す

ジャンプ機能を使って、再生したいトラック、カテゴリー、またはフォルダに瞬時に移動できます。
ジャンプ機能には、以下 2 つのモードがあります。

- アルファベットジャンプ：アルファベット順に並んでいる、または並べ替えているときに使います。
- ページジャンプ：アルファベット順に並んでいない、または並べ替えていないとき使います。

❖ アルファベットジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいるリストを表示させる

rekordbox のライブラリや USB デバイス内のトラックリストなど、アルファベット順に並んでいるリストを表示させます。

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す

アルファベットジャンプモードに切り換わります。カーソルで選んでいるトラックまたはカテゴリーの頭文字が拡大表示されます。

3 ロータリーセレクターを回して、文字または記号を選ぶ

選んだ文字または記号で始まるトラックまたはカテゴリーにカーソル位置が移動します。

- 選んだ文字から始まるカテゴリーがリストにない場合はカーソルは移動しません。
  アルファベットジャンプで表示される文字は A ～ Z、0 ～ 9、および一部の記号です。

❖ ページジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいないリストを表示させる

音楽 CD のトラックや USB デバイスまたはディスク内のフォルダなど、アルファベット順に並んでいないリストを表示させます。

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す

ページジャンプモードに切り換わります。

3 ロータリーセレクターを回して、ページを選ぶ

選んだページに移動します。

❖ INFORMATION ジャンプ機能を使う

詳細情報に表示されている項目を選んで、トラックが含まれるカテゴリーを表示できます。この機能はロードしているトラックと同じジャンルや近い BPM 値のトラックを探す場合に便利です。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO] ボタンを押す

トラックの詳細情報が表示されます。

- 詳しくは 31 ページの「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」をご覧ください。

3 項目を選んで決定する
ブラウズ画面に切り換わり、選択した項目のカテゴリーを表示します。
- ブラウズ画面を閉じるには、[**BROWSE**] ボタンを押します。
- ブラウズ画面に表示するべき項目が無いものや、詳細画面にアイコンだけが表示されている項目は選べないことがあります。
- トラックを選んだときは、トラックがロードされる直前に表示していたブラウズ画面を表示します。
- ディスクのトラック、rekordbox ライブラリが入っていない USB デバイスでは、項目はトラックのみ選択できます。

演奏履歴を参照する (HISTORY)

ブラウズ画面でのカテゴリーの [**HISTORY**] には、トラックの演奏履歴が記録および表示されます。
- rekordbox を使って [**HISTORY**] の演奏履歴を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

演奏履歴を記録する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 トラックを再生する
約 1 分間プレイしたトラックが演奏履歴リストに記録されます。
- USB デバイスを本機にはじめてセットしたとき、または再セットしたとき、USB デバイス内に新しい演奏履歴リストが自動で作成されます。
- [**UTILITY**] で演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定しておくことができます。
  ➲ 「演奏履歴リストの名前を設定する」(p.33)
- 同一のトラックを 2 回以上連続してプレイした場合は、履歴に残らないことがあります。
- 1 つの演奏履歴リストに記憶できる最大トラック数は、999 トラックです。1000 トラック以上を記憶するときは、新たな履歴を記憶するために一番古い履歴が削除されます。演奏履歴リストは 999 個まで作成できます。
- 演奏履歴リストに登録されたトラックは、曲名等が緑色（再生済み）に変わります。
- カテゴリーの [**PLAYLIST**] 内のトラックは [**MENU**] ボタンを使って曲名等を緑色（再生済み）に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストにトラックが登録されます。

演奏履歴を削除する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 rekordbox ライブラリを表示させる
➲ 「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.20)
➲ 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.20)

3 ロータリーセレクターを使って、カテゴリーで [HISTORY] を選んで決定する
演奏履歴リストがリスト表示されます。

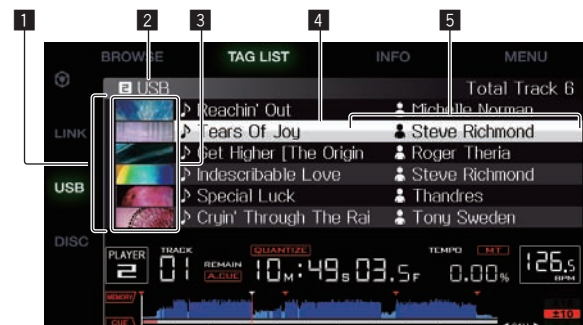
4 ロータリーセレクターを回して、削除したい演奏履歴リストを選ぶ

5 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す
削除メニューが表示されます。

6 ロータリーセレクターを回して、削除範囲を選んで決定する
- [**DELETE**]：選ばれている演奏履歴リストが削除されます。
- [**ALL DELETE**]：すべての演奏履歴リストが削除されます。
- USB デバイスの演奏履歴リストを rekordbox にプレイリストとして取り込むと、取り込まれた演奏履歴リストは USB デバイスから削除されます。
- カテゴリーの [**PLAYLIST**] 内のトラックは [**MENU**] ボタンを使って曲名等を緑色（再生済み）から白色（未再生）に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストからトラックが削除されます。

7 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストを編集する

次に再生するトラックや DJ シーンに合わせて選んだトラックを、マークを付けてあらかじめリストに集めておくことができます。集めたトラックリストを「タグリスト」といいます。タグリストは PRO DJ LINK 接続されている複数の DJ プレーヤーの間で、リアルタイムで相互に参照できるリストになります。
- タグリストに追加できるトラック数は、1 メディア当たり 100 トラックです。
- タグリストは 1 つの USB デバイスで 1 つ作成されます。USB デバイスをまたいでトラックをリストに集めることはできません。
- 同一フォルダ内の同一トラックを重複して登録することはできません。

1	内容一覧	タグリストの内容を表示します。
2	メディア名	トラックが記録されているメディアの名前を表示します。
3	ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [**INFO (LINK INFO)**] ボタンを押すとジャケット写真が消え連番が表示されます。
4	カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
5	ユーザー設定カテゴリー	rekordbox で表示するカテゴリーを選ぶことができます。 [**INFO (LINK INFO)**] ボタンを押すとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。

タグリストにトラックを追加する

❖ トラックを選んで追加する

1 ブラウズ画面に切り換えて、トラックをリスト表示する

2 トラックにカーソルを合わせ [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

トラックの左側に ✔ が表示され、そのメディアのタグリストにトラックが追加されます。
- rekordbox を使ってあらかじめタグリストにトラックを登録しておくことができます。
  ➲ この操作については、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

❖ ロードしているトラックを追加する

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO] ボタンを押す

3 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す
本機にロードされているトラックがタグリストに追加されます。
- 通常再生画面でも [**TAG TRACK/REMOVE**] ボタンを押してタグリストに追加できます。

❖ カテゴリーまたはフォルダごと追加する

選んだカテゴリーまたはフォルダ内のすべてのトラックをタグリストに追加できます。

1 ブラウズ画面に切り換えて、直下にトラックが含まれるカテゴリーまたはフォルダを選ぶ

情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態になります。

2 カテゴリーまたはフォルダにカーソルを合わせて、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

カテゴリー名またはフォルダ名が点滅し、カテゴリーまたはフォルダ内のすべてのトラックがタグリストに追加されます。

- フォルダブラウズしているときにフォルダを追加すると、ID3 等を一度も読み込んでいないトラックはトラック名がファイル名で登録されます。アーティスト名は登録されません。
- タグリストに追加したあと、登録曲をブラウズ画面のトラックリスト内で表示する、または登録曲をプレーヤーにロードして ID3 等を読み込むとファイル名はトラック名に変わりアーティスト名も登録されます。

❖ プレイリストからトラックを追加する

選んだプレイリスト内のトラックをタグリストに追加できます。

1 ブラウズ画面に切り換えて、カテゴリーの [PLAYLIST] を選んで決定する

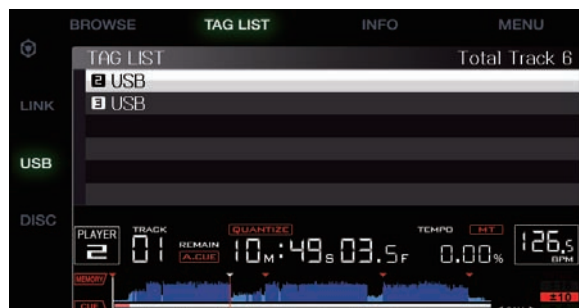
プレイリストがリスト表示され、情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態になります。

2 プレイリストにカーソルを合わせて、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

プレイリスト名が点滅し、プレイリスト内のトラックがタグリストに追加されます。

タグリストからトラックをロードする

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

- DJ プレーヤーに複数のメディアがセットされている場合、メディアの名前の前にそのメディアがセットされているプレーヤー番号、rekordbox アイコンが表示されます。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、ロードしたいトラックを選んで決定する

トラックがロードされ再生が始まります。

タグリストからトラックを削除する

タグリスト上からトラックを削除することができます。

- タグリストに追加されているトラックを再生しているとき、そのトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次トラックは再生しません。

❖ 1 トラックずつ削除する

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、削除したいトラックにカーソルを合わせる

4 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを 1 秒以上押す

以下の画面の時に [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押すとタグリストからトラックを削除することができます。

- ブラウズ画面でタグリストに登録されているトラックにカーソルが合っているとき。
- タグリストに登録されているトラックのロード中に通常再生画面またはトラックの詳細情報画面が表示されているとき。

❖ すべてのトラックを削除する

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

4 ロータリーセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

5 ロータリーセレクターを使って、[REMOVE ALL TRACKS] を選んで決定する

6 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストとして集めたトラックをプレイリストに変換することができます。

- 変換したプレイリストはカテゴリーの [PLAYLIST] の項目として表示できます。

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

4 ロータリーセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

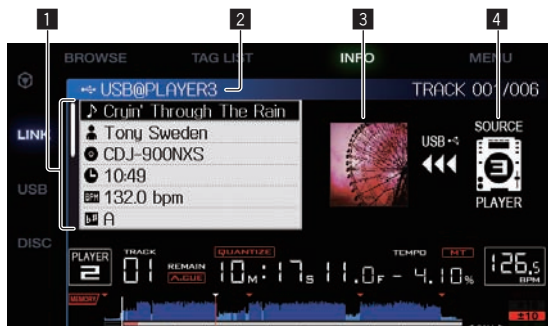
5 ロータリーセレクターを使って、[CREATE PLAYLIST] を選んで決定する

6 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストの内容が [TAG LIST XXX] という名前のプレイリストに変換されます。

- メディア内に rekordbox のライブラリ情報が記録されていないときは、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックの両方を登録している場合、rekordbox で管理されているトラックだけプレイリストに変換されます。

ロードされているトラックの詳細情報を表示する

ロードされているトラックの詳細情報を確認できます。

1	トラック情報詳細	DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。
2	メディア / プレーヤー番号	トラックの情報が保存されている場所を表示します。
3	ジャケット写真、コメント	DJ プレーヤーにロードされているトラックのジャケット写真およびコメントを表示します。
4	ソース表示	ロードされているトラックの格納元を表示します。

ソース表示 (4) は本機に挿入されたディスク、メディアがロードされているときは表示されません。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO] ボタンを押す

トラックの詳細情報が表示されます。

曲のレーティングを変更する

曲のレーティング (評価) を変更できます。

1 詳細情報に表示されているレーティング (表示例：☆☆☆☆☆) を選ぶ

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押してから、ロータリーセレクターを左または右に回す

ロード中の曲のレーティングが変更されます。

他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示する

他の DJ プレーヤーが PRO DJ LINK 接続されているときは、他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を確認できます。

1 本機と DJ プレーヤーを PRO DJ LINK 接続する

2 [INFO] ボタンを 1 秒以上押す

[**LINK INFO**] 画面が表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、トラック情報を見たい DJ プレーヤーを選んで決定する

選んだ DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報が表示されます。

設定を変更する

設定内容を USB デバイスに記録する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を USB デバイスに記録できます。
記録した設定内容は、rekordbox へ書き出せます。
rekordbox で本機の設定を行ってから USB デバイスに記録し、その設定値を他のプレーヤーに反映することもできます。

- 記録される設定内容は以下です。
  — [UTILITY] の設定内容
  PLAY MODE、**EJECT/LOAD LOCK**、**AUTO CUE LEVEL**、**SLIP FLASHING**、**ON AIR DISPLAY**、**LANGUAGE**、**LCD BRIGHTNESS**
  — その他の設定内容
  TIME MODE（本体表示部の時間表示方法）、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、SYNC

1 設定内容を記録したい USB デバイスをセットする

2 メディアボタン (USB) を押す

設定内容を記録する USB デバイスが PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[**LINK**] ボタンを押して記録メディアを選んでください。

3 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [SAVE] を選んで決定する

設定内容が記録されます。

USB デバイスに記録した設定内容を呼び出す

USB デバイスに記録した、[**UTILITY**] の設定内容およびその他の設定内容を呼び出すことができます。

1 設定内容を記録したい USB デバイスをセットする

2 メディアボタン (USB) を押す

設定内容を記録する USB デバイスが PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[**LINK**] ボタンを押して記録メディアを選んでください。

3 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

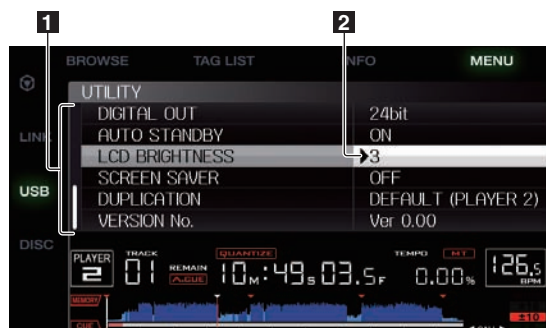
4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [LOAD] を選んで決定する

設定内容が呼び出されます。

[UTILITY] 画面を表示する

[MENU (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

[**UTILITY**] 画面が表示されます。

画面の見かた

1	設定項目	本機の設定項目が表示されます。
2	項目内容	それぞれの項目の設定値を表示します。

設定を変更する

1 [MENU (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

[**UTILITY**] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回して、設定項目を選ぶ

3 変更したい項目にカーソルを合わせて、ロータリーセレクターを押す

カーソルが設定内容に移動します。

4 ロータリーセレクターを回して、設定内容を変更する

5 ロータリーセレクターを押して、設定内容を決定する

カーソルが設定項目に戻ります。

- 設定内容を決定する前に [**BACK**] ボタンを押すと変更を中止します。

6 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

[**MENU (UTILITY)**] ボタンを押す前の画面に戻ります。

設定項目一覧

設定項目	設定範囲	説明
PLAY MODE	**CONTINUE*/SINGLE**	本機にロードされているトラックの再生方法を変更します。 詳しくは 33 ページの「再生方法を変更する」をご覧ください。
EJECT/LOAD LOCK	**LOCK/UNLOCK***	再生中のディスクの取り出し、再生中に新たなトラックのロードを禁止する / しないを設定します。
AUTO CUE LEVEL	**–36 dB/–42 dB/–48 dB/–54 dB/–60 dB*/–66 dB/–72 dB/–78 dB/MEMORY**	詳しくは、25 ページの「オートキューのキューポイントを設定する」をご覧ください。
SLIP FLASHING	**ON*/OFF**	[**SLIP**] ボタンを押したときに、スリップ機能が働くボタン等のインジケーターを点滅させる / させないを設定します。
ON AIR DISPLAY	**ON*/OFF**	本体表示部にトラックの ON AIR 状態を表示する / しないを設定します。ON AIR DISPLAY 対応ミキサー (DJM-2000nexus など) と PRO DJ LINK 接続しているときに、ミキサーのチャンネルフェーダーやクロスフェーダーの操作に合わせて ON AIR 状態を表示することができます。ON AIR DISPLAY 対応ミキサーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
LANGUAGE	—	本体表示部に表示される言語を選べます。
LIBRARY CREATOR	**LIBRARY*/FOLDER**	パイオニア製 MEP-7000 用ライブラリを表示する / 表示しないを選べます。

設定項目	設定範囲	説明
HISTORY NAME	–	詳しくは、33 ページの「演奏履歴リストの名前を設定する」をご覧ください。
PLAYER No.	AUTO*、1 ～ 4	本機のプレーヤー番号を設定します。本機にメディアがセットされているときは変更できません。
LINK STATUS	–	PRO DJ LINK 接続しているとき接続状態を表示します。
MIDI CHANNEL	1* ～ 16	詳しくは、36 ページの「MIDI チャンネル設定を変更する」をご覧ください。
DIGITAL OUT	16 bit/24 bit*	[**DIGITAL OUT**] 端子から出力する音声の bit 数を切り換えます。
AUTO STANDBY	ON*/OFF	詳しくは、33 ページの「オートスタンバイを設定する」をご覧ください。
LCD BRIGHTNESS	1 ～ 3* ～ 5	本体表示部の明るさを設定します。
SCREEN SAVER	ON*/OFF	[***ON***] に設定すると、以下いずれかのとき、スクリーンセーバーが起動します。 • 本機に 5 分以上トラックがロードされないとき • 一時停止、キュー待機状態、または [**END**] が本体表示部に表示されたまま 100 分以上何も操作されないとき
DUPLICATION	DEFAULT*、ALL、PLAYER1 ～ 4	詳しくは、33 ページの「PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する」をご覧ください。
VERSION No.	–	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

*：お買い上げ時の設定

再生方法を変更する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.32)

2 ロータリーセレクターを使って、[PLAY MODE] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを使って、[CONTINUE] または [SINGLE] を選んで決定する

CONTINUE：すべてのモードで前の曲や次の曲に移動できます。
SINGLE：本体表示部の [**TRACK**] の文字が [**SINGLE**] に変わり、トラックサーチボタン、サーチボタン以外では前の曲や次の曲へ移動できなくなります。

- 音楽 CD のトラックの場合は、設定にかかわらず [**CONTINUE**] で動作します。

オートスタンバイを設定する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.32)

2 ロータリーセレクターを使って、[AUTO STANDBY] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを使って、[ON] または [OFF] を選んで決定する

[**AUTO STANDBY**] を [**ON**] に設定すると、以下のときにオートスタンバイ機能が働きスタンバイ状態になります。

- ディスク、USB デバイスがセットされていない、かつ PRO DJ LINK 接続していない、かつ **USB** 端子 (本体背面部) にコンピューターが接続されていない状態で、4 時間以上まったく何も操作されないとき
- 本機を操作するとスタンバイ状態が解除されます。
- 本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[**AUTO STANDBY**] を [**OFF**] に設定してください。

演奏履歴リストの名前を設定する

USB デバイスに記録される演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定できます。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.32)

2 ロータリーセレクターを使って、[HISTORY NAME] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを使って文字を入力する

入力した文字を含むトラックだけ表示します。

- 続けて文字を入力すると、入力した文字列を含むトラックだけ表示します。
- [**BACK**] ボタンを押すとカテゴリー選択画面に戻ります。

4 ロータリーセレクターを押して決定する

入力した名前に変更されます。

- 演奏履歴リストの名前を変更すると、演奏履歴リストの名前の後ろの数字が 001 に戻ります。この数字は演奏履歴リストが作成される度に順番に追加されます。
- [**HISTORY**] の名前に設定できる文字数は、半角英数と記号を合わせて 32 文字です。

言語を変更する

トラック名などの表示、画面上メッセージ表示に使われる言語を選択します。

- 言語を切り換えると、本体表示部に表示されるメッセージが選択した言語で表示されます。
- トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[**LANGUAGE**] 設定を変更してください。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.32)

2 ロータリーセレクターを使って、[LANGUAGE] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを使って、言語を選んで決定する

画面表示言語が変更されます。

PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を PRO DJ LINK で接続している他の DJ プレーヤーに複製できます。

- 複製される設定内容は以下です。
  — [UTILITY] の設定内容
  PLAY MODE、EJECT/LOAD LOCK、AUTO CUE LEVEL、SLIP FLASHING、ON AIR DISPLAY、LANGUAGE、LCD BRIGHTNESS
  — その他の設定内容
  TIME MODE (本体表示部の時間表示方法)、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、SYNC

1 [DUPLICATION] を選んで決定する

2 設定を反映させたい DJ プレーヤーの再生を止める

3 ロータリーセレクターを使って、[PLAYER X] または [ALL] を選んで決定する

[**PLAYER1**]–[**PLAYER4**]：指定した DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーは選べません。
[**ALL**]：PRO DJ LINK 接続中のすべての DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーには設定を複製できません。
指定したプレーヤーの表示部に [DUPLICATED] と表示され、本機の [UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容が指定したプレーヤーに複製されます。
[**DEFAULT**]：本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ドライバソフトウェアについて (Windows)

ドライバソフトウェアをインストールする

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

動作環境

対応 OS		
Windows® 8/Windows® 8 Pro	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]
Windows® XP Home Edition/Professional (SP2 以降)	32 ビット版	○

[1] 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバソフトウェアをインストールする前に

- 7 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- ドライバソフトウェアをコンピューターにインストールしないで本機をコンピューターに接続すると、お客様の環境によってはコンピューターにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。

1 本機の ⏻ スイッチを切り、本機とコンピューターを接続している USB ケーブルを取り外す

2 コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログオンする

3 コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させる

4 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。

5 CD-ROM のメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする

  - CD-ROM のメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

6 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [**Windows セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているとき
  インストールの途中で [**ハードウェアのインストール**] 画面が表示されることがありますが、[**続行**] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

本機とコンピューターを USB 接続する

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

接続方法については、13 ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。

2 [⏻] スイッチを押す

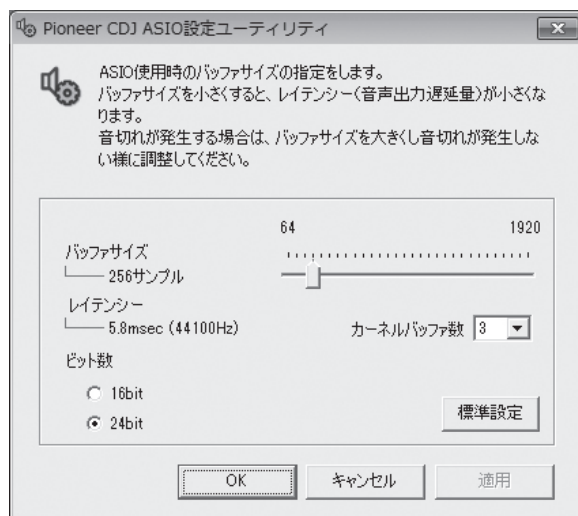
本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピューターに接続したとき、またはコンピューターの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。
- Windows XP にインストールしているとき
  — インストールの途中で [**ハードウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？**] と表示されることがありますが、[**いいえ、今回は接続しません**] を選んで [**次へ**] をクリックしてインストールを続行してください。
  — インストールの途中で [**インストール方法を選んでください**] と表示されることがありますが、[**ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)**] を選んで [**次へ**] をクリックしてインストールを続行してください。
  — インストールの途中で [**ハードウェアのインストール**] 画面が表示されることがありますが、[**続行**] をクリックしてインストールを続行してください。

バッファサイズを調整する (Windows)

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[Pioneer CDJ]>[Pioneer CDJ ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。
- ビット数は ASIO 再生時のビット深度を指定します。
- バッファサイズおよびカーネルバッファの調整は、以下の手順を参考に操作してください。

❖ 初期設定状態で音とぎれが発生していないとき

1 バッファサイズを徐々に小さくして、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

2 カーネルバッファ数を [2] に設定して、音とぎれが発生するか確認する

- 音とぎれが発生するときはカーネルバッファ数を [**3**] に設定してください。

❖ 初期設定状態で音とぎれが発生しているとき

カーネルバッファ数を [4] に設定にしたあと､音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[Pioneer CDJ]>[Pioneer CDJ バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

- 本機がコンピューターに接続されていないとき、または本機とコンピューターが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

他社製 DJ ソフトウェアを使う

MIDIを使ってDJソフトウェアを操作する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
本機をオーディオデバイスとして使うときはあらかじめコンピューターにドライバソフトウェアをインストールしてください (34 ページ)。また、DJ ソフトウェアのオーディオ出力デバイスの設定で本機を選んでおく必要があります。詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の USB 端子とコンピューターを接続する

接続方法については、13 ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。

2 [BROWSE] ボタンを押してから [LINK] ボタンを押す

メニュー画面に [コントロールモード] および [USB-MIDI] が表示されます。

3 [コントロールモード] を選んで決定する

接続中画面が表示されます。

4 [USB-MIDI] を選んで決定する

本機がコントロールモードに切り換わります。

5 DJ ソフトウェアを起動する

DJ ソフトウェアと通信が始まります。

- 本機のボタンおよびロータリーセレクターなどを使ってコンピューターの DJ ソフトウェアを操作できます。
- ボタンによってはDJソフトウェアの操作に使えないことがあります。
- 本機にトラックがロードされるとコントロールモードが解除されます。
- 本機が出力するメッセージについては 36 ページの「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

MIDI チャンネル設定を変更する

1 [MENU (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

ユーティリティ画面が表示されます。

2 [MIDI CHANNEL] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを回す

MIDIチャンネルを選んで設定を変更します。1 ～ 16の設定を選べます。

4 ロータリーセレクターを押して決定する

5 [MENU (UTILITY)] ボタンを押す

元の画面に戻ります。

MIDI メッセージ一覧

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ			備考
		MSB			
JOG (TOUCH)	–	Bn	10	dd	停止から４倍速の速度に対するリニア値で、停止で 64、FWD 方向：65 (0.06 倍速) ～ 127 (4 倍速)・REV 方向：63 (0.06 倍速) ～ 0 (4 倍速)。
TEMPO SLIDER	VR	Bn	1D	dd	0 ～ 127 －側で 0、＋側で 127
TOUCH/ RELEASE	VR	Bn	1E	dd	0 ～ 127 左側 (min) で 0、右側 (max) で 127
JOG RING	–	Bn	30	dd	0.5 倍速から４倍速の速度に対するリニア値で、停止 (0.49 倍速以下) で 64、FWD 方向：65 (0.5 倍速) ～ 127 (4 倍速)・REV 方向：63 (0.5 倍速) ～ 0 (4 倍速)。
ENCODER	General Purpose Controller	Bn	4F	dd	98 ～ 127、1 ～ 30 前回からの差分のカウント値を転送 (± 1 ～± 30) ± 30 以上のときは± 30 とする
PLAY/ PAUSE	SW	9n	00	dd	OFF=0, ON=127
CUE	SW	9n	01	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH FWD	SW	9n	02	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH REV	SW	9n	03	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH NEXT	SW	9n	04	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH REV	SW	9n	05	dd	OFF=0, ON=127
LOOP IN	SW	9n	06	dd	OFF=0, ON=127
LOOP OUT	SW	9n	07	dd	OFF=0, ON=127
RELOOP	SW	9n	08	dd	OFF=0, ON=127
QUANTIZE	SW	9n	09	dd	OFF=0, ON=127
MEMORY	SW	9n	0A	dd	OFF=0, ON=127
CALL NEXT	SW	9n	0B	dd	OFF=0, ON=127
CALL PREV	SW	9n	0C	dd	OFF=0, ON=127
DELETE	SW	9n	0D	dd	OFF=0, ON=127
TIME/ A.CUE	SW	9n	0E	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RANGE	SW	9n	10	dd	OFF=0, ON=127
MASTER TEMPO	SW	9n	11	dd	OFF=0, ON=127
JOG MODE	SW	9n	12	dd	OFF=0, ON=127
MASTER	SW	9n	1E	dd	OFF=0, ON=127
SYNC	SW	9n	1F	dd	OFF=0, ON=127
JOG TOUCH	SW	9n	20	dd	OFF=0, ON=127
REVERSE	SW	9n	21	dd	OFF=0, ON=127
BEAT DIVIDE 3/4	SW	9n	23	dd	OFF=0, ON=127
BEAT DIVIDE 1/3	SW	9n	24	dd	OFF=0, ON=127
BEAT DIVIDE 1/2	SW	9n	25	dd	OFF=0, ON=127
BEAT DIVIDE 1/4	SW	9n	26	dd	OFF=0, ON=127
BEAT DIVIDE 1/8	SW	9n	27	dd	OFF=0, ON=127
4 BEAT LOOP	SW	9n	2A	dd	OFF=0, ON=127
SLIP	SW	9n	2C	dd	OFF=0, ON=127
EJECT	SW	9n	2F	dd	OFF=0, ON=127
TAG TRACK	SW	9n	30	dd	OFF=0, ON=127
BACK	SW	9n	32	dd	OFF=0, ON=127
ENCODER PUSH	SW	9n	33	dd	OFF=0, ON=127

n はチャンネル番号です。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、39 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしディスクが完全に停止してから再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
ディスクが取り出せない。	[**EJECT/LOAD LOCK**] を [**LOCK**] に設定していませんか？	[**PLAY/PAUSE▶/II**] ボタンを押して一時停止してから [**DISC EJECT⏏**] ボタンを押してください。
		[**UTILITY**] 内の [**EJECT/LOAD LOCK**] を [**UNLOCK**] に設定して [**DISC EJECT⏏**] ボタンを押してください。
	ー	[**DISC EJECT⏏**] ボタンが働かないときは、ディスク強制取り出し穴にピンを挿入して取り出してください。
ディスクをセットしても再生が始まらない。	再生できるディスクまたはファイルですか？	5 ページの「使用できるメディア」をご覧ください。
	オートキュー機能が働いていませんか？	[**AUTO CUE**] を 1 秒以上押して、オートキュー機能を解除してください。
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護 (DRM) されていませんか？	著作権保護されているファイルは再生できません。
音が出ない、歪む、またはノイズが出る。	接続している DJ ミキサーが正しく操作されていますか？	DJ ミキサーの操作を確認してください。
	本機とテレビを近くに設置していませんか？	テレビの電源をオフにしてください。または本機とテレビを離して設置してください。
特定のディスクを再生すると、大きなノイズが出るまたは再生が停止する。	ディスクに傷がついていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクの汚れを拭き取ってください。（40 ページ）
ファイルの情報が正しく表示されない。	[**LANGUAGE**] が適切に設定されていますか？	[**LANGUAGE**] を適切な言語に設定してください。
	本機が対応していない言語で情報が記述されていませんか？	DJ ソフトウェアなどを使ってファイルを作成するときは、本機が対応している言語で情報を記述してください。
トラックサーチが終わらない。	オートキュー機能が働いていませんか？	曲間の無音部分が長いときは、トラックサーチに時間がかかることがあります。
	ー	10 秒以内にトラックサーチできないときは、トラックの先頭がキューポイントに設定されます。
バックキュー機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください (23 ページ)。
ループプレイ機能が働かない。	ループポイントが設定されていますか？	ループポイントを設定してください (23 ページ)。
設定が記憶されない。	設定を変更したあと、すぐに電源をオフにしていませんか？	設定を変更したあとは、10 秒以上経過してから電源をオフにしてください。
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか？	奥までしっかり差し込んでください。
	USB ハブを経由して接続していませんか？	USB ハブは使えません。
	本機が対応している USB デバイスですか？	USB マスストレージクラスの機器にだけ対応しています。
		携帯フラッシュメモリー、またはデジタルオーディオ再生機器に対応しています。
	ファイルフォーマットが本機に対応していますか？	接続している USB デバイスのファイルフォーマットを確認してください。本機が対応しているファイルフォーマットについては、5 ページの「USB デバイスについて」をご覧ください。
	ー	電源をオンし直してください。
USB デバイスにキューポイントまたはループが記憶されない。	制限数以上のポイントを記録しようとしていませんか？	USB デバイスに記録できるキューポイントまたはループポイントは、ディスク 1 枚当たり 100 か所です。また、ディスク以外のメディアでは、1 トラック当たり 10 か所です。 制限数以上のポイントを記録しようとすると [**CUE/LOOPPOINT FULL**] が表示され記録できません。この場合は、いくつかのポイントを削除してから、記憶させてください。
	USB デバイスが書き込み禁止になっていませんか？	USB デバイスが書き込み禁止に設定されているときは、[**USB FULL**] と表示され記録できません。書き込み禁止の設定を解除してから、再度記憶させてください。
	USB デバイスに十分な空き容量がありますか？	USB デバイスの空き容量が足りないときは、[**USB FULL**] と表示され記録できません。空き容量を確保してから、再度記憶させてください。
USB デバイスに記録されている曲のキューポイントまたはループが表示されない。	前回 USB デバイスを取り外すときに、正しく停止処理を行いましたか？	停止処理を行わずに取り外すまたは本機の電源をオフにすると、表示されないことがあります。 USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフにする前に、USB インジケーターが完全に消灯していることを確認してください。
リループ実行時にボタンを押したり、逆再生実行時にボタンを押しても、瞬時に開始されない。	クオンタイズ機能がオンになっていませんか？	クオンタイズ機能がオンになっていると、ボタンを押したときに最も近い拍位置から開始されます。ボタンを押した瞬間に動作させたい場合は、クオンタイズ機能をオフにしてください。
プレーイングアドレス表示が残り時間表示で表示されない。	ー	VBR で記録されているファイルを再生しているときは、曲の長さがすぐにわからないことがあるためプレーイングアドレス表示が表示されるまでに時間がかかることがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) の読み込みに時間がかかる。	USB デバイスに大量のフォルダまたはファイルを記録していませんか？	フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
	USB デバイスに音楽ファイル以外のファイルを保存していませんか？	音楽ファイル以外のファイルがフォルダ内にあるときも読み込みに時間がかかるので、音楽ファイル以外のファイル、フォルダは入れないようにしてください。
ライブラリブラウズできない。	ライブラリ情報が記録されているメディアをセットしていますか？	ライブラリ情報が記録されているメディアをセットしているときだけライブラリブラウズで表示できます。ライブラリ情報が記録されていないメディアをセットしたときはフォルダブラウズで表示します。
[**HISTORY**] が表示されない。	USB デバイスをセットしていますか？	[**HISTORY**] は、USB デバイスをセットしている DJ プレーヤーでお使いいただける機能です。
何も表示されない。	オートスタンバイ機能が働いていませんか？	本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[**UTILITY**] 内の [**AUTO STANDBY**] を [**OFF**] に設定してください。 (33 ページ)
目盛表示がされない。	曲の長さが 15 分以上ありませんか？	再生時間が 15 分以上ある曲の場合は目盛表示は行われません。 (17 ページ)
PRO DJ LINK がうまく動かない。	プレーヤー番号が正しく設定されていますか？	[**PLAYER No.**] を [**AUTO**] または現在の設定とは異なる番号に変更してください。 (32 ページ)
	LAN ケーブルが正しく接続されていますか？	LAN ケーブルを [**LINK**] 端子に正しく接続してください。
	スイッチングハブの電源がオンになっていますか？	スイッチングハブの電源をオンにしてください。
	スイッチングハブに不要な機器が接続されていませんか？	スイッチングハブから不要な機器を取り外してください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点 (輝点) が現れることがあります。これは液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所でお使いになるときは、本機の電源をオンにしたあとしばらく液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

iPod/iPhone/iPad について

- 本製品は、パイオニアホームページに記載されている iPod/iPhone/iPad のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。(http://pioneerdj.com/support/)
- パイオニアホームページに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様の iPod/iPhone/iPad にインストールした場合、本製品との互換がなくなる場合があります。
- iPod/iPhone/iPad の動作に関しては保障致しかねますのでご了承ください。
- 使用時に iPod/iPhone/iPad のデータ等が消失した場合でも、その保証については責任を負いかねますのでご了承ください。
- iPod/iPhone/iPad は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

エラー表示

本機が正常に動作できないときは表示部にエラーコードを表示します。以下の表で確認して処置してください。以下の表にないエラーコードが表示されるときや、処置しても同じエラーコードが表示されるときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-7201	**CANNOT READ DISC**	TOC データが読み取れない。	• ディスクにひび割れがある。➞ ディスクを交換してください。 • ディスクが汚れている。➞ ディスクをクリーニングしてください。 • 他のディスクで正常に動作するときはディスクに原因があります。 • トラックデータ (ファイル) が破損している可能性があります。➞ 本機と同じフォーマットを再生できる別のプレーヤーなどで、トラック (ファイル) が再生できるか確認してください。
E-8301	**CANNOT READ DISC**	正常に演奏できないディスクがセットされている。	
E-8302	**CANNOT PLAY TRACK(****)**	ディスク内のまたは USB デバイス内のトラックデータ (ファイル) が正常に読み取れない。	
E-8303	**CANNOT PLAY TRACK**		
E-8304 E-8305	**UNSUPPORTED FILE FORMAT**	正常に演奏できない音楽ファイルをロードしている。	フォーマットに従っていない。➞ フォーマットに従った音楽ファイルに交換してください。
E-9101	**MECHANICAL TIMEOUT**	ディスクの読み込み中または取り出し中にメカエラー (タイムアウト) になった。	規定時間内にメカ動作が終了しなかったときに表示されます。

本体表示部表示アイコン一覧

ジャンル	プレーヤー番号 (1 〜 4)	コンピューター	フォルダ閉	WAIT
アーティスト	ディスク	年	リミキサー	rekordbox
アルバム	タグリスト登録済み	レーベル会社	オリジナルアーティスト	ミキサー
トラック / ファイル名	テンポ (BPM)	キー	サーチ	
プレイリスト HISTORY	カラー	ビットレート	DJ プレイカウント	
レーティング	USB	再生中	ライブラリ追加日	
時間	SD	フォルダ開	コメント	

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書

保証書は必ず「販売店名･購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

音楽管理ソフトウェア rekordbox は保証書に記録されている無料修理等の対象ではありません。rekordbox をインストールし、あるいはご利用するにあたっては、取扱説明書のソフトウェア使用許諾契約書の条項をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 37 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず USB ケーブルを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：マルチプレーヤー
- 型番：CDJ-900NXS
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに 1 〜 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このようなときは、「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販のクリーニングディスクはレンズを破損する恐れがありますので、使わないでください。

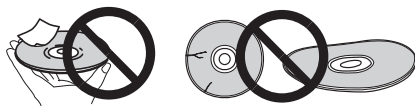
ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やほこりが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使わないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使わないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使わないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞り汚れを拭き取ったあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク (ひびやそりのあるディスク) は使わないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからお使いください。

特殊な形のディスクについて

本機は一般の 12 cm ディスク以外の異形ディスクは再生できません (故障・事故の原因になることがあります)。
本機では、特殊な形のディスク (ハート型や六角形等) は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはお使いにならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります (結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからお使いください。

商標、ライセンス等

- Pioneer および rekordbox は、パイオニア株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」 および 「Made for iPad」 とは、それぞれ iPod、iPhone あるいは iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod、iPhone あるいは iPad と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- Apple、iPad、iPod、iPod touch、iTunes、Safari、Finder、Mac、Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Android™ は Google Inc. の商標です。
- iOS は、US その他の国でシスコが商標権を有する商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
  本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での (収益の発生するような) 、実際の放送 (地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送) 、インターネットやイントラネット (企業内ネット) あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム (音楽の有料配信など) のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
-
  パイオニア株式会社
  〒 212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号
  <DRJ1021-A>